

# 認定書

国住指第156号  
平成 18年 5月 16日

竹村工業株式会社  
代表取締役社長 鋤柄 富男 様

国土交通大臣 北側 一雄



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法第2条第七号の二並びに同法施行令第115条の2の2第1項第一号イ、ロ及びハ(外壁(耐力壁):各1時間)の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号

QF060BE-0315

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

複合金属サイディング・硬質木毛セメント板表張／せっこうボード重裏張／木製軸組造外壁

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

(注意)この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 構造名

複合金属サイディング・硬質木毛セメント板表張/せっこうボード重裏張/木製軸組造外壁

## 2. 寸法および形状等

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
壁 高	構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法とする
壁 厚	158 以上

## 3. 材料構成

## 1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
①荷重支持部材	柱：木 製材または集成材 ・断面形状 105×105 の断面寸法以上 ・間 隔 3640 以下
②間柱	木 ・断面形状 45×105 の断面寸法以上 (構造用面材継手部) 30×105 の断面寸法以上 (構造用面材面部) ・間 隔 455 以下
③胴つなぎ	木 ・断面形状 45×105 の断面寸法以上 ・間 隔 1820 以下
④外装材	(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする ただし、張方は、縦張又は横張のうち、いずれか一仕様とする (1) スパンドレル ・材 質 1)～6)のうち、いずれか一仕様とする 1) カラーアルミ (NM-8597, NM-8598) ・厚 さ 0.6～2.0 2) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・厚 さ 0.19～1.2 ・規 格 JIS G 3312 3) 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 ・厚 さ 0.19～1.2 ・規 格 JIS G 3318 4) 塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ・厚 さ 0.19～1.2 ・規 格 JIS G 3322 5) 塩化ビニル鋼板 ・厚 さ 0.19～1.2 ・規 格 JIS K 6744 6) 塗装ステンレス鋼板 ・厚 さ 0.19～1.2 ・規 格 JIS G 3320 ・働 き 幅 100～215 ・山 高 さ 11 以上

項 目	申 請 構 造
④外装材 (つづき)	<p>(2) 角波鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材 質 1)～5)のうち、いずれか一仕様とする           <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板               <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS G 3312</li> </ul> </li> <li>2) 塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板               <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS G 3318</li> </ul> </li> <li>3) 塗装溶融 55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板               <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS G 3322</li> </ul> </li> <li>4) 塩化ビニル鋼板               <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS K 6744</li> </ul> </li> <li>5) 塗装ステンレス鋼板               <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS G 3320</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>・厚 さ 0.19～1.2</li> <li>・働 き 幅 300～800</li> <li>・山 高 さ 11以上</li> </ul> <p>(3) 木</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・樹 種 (1)～(5)のうち、いずれか一仕様とする           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) スギ</li> <li>(2) ヒノキ</li> <li>(3) アカマツ</li> <li>(4) カラマツ</li> <li>(5) ヒバ</li> </ol> </li> <li>・厚 さ 9以上</li> <li>・働 き 幅 100以上</li> </ul> <p>(4) 複合金属サイディング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS A 6711 準拠</li> <li>・表 面 材 1)～7)のうち、いずれか一仕様とする           <ol style="list-style-type: none"> <li>1) アルミニウム合金塗装板               <ul style="list-style-type: none"> <li>[カラーアルミ (NM-8597, NM-8598)]</li> <li>・規 格 JIS H 4001</li> <li>・厚 さ 0.35以上</li> </ul> </li> <li>2) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板               <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS G 3312</li> <li>・厚 さ 0.27以上</li> </ul> </li> <li>3) 塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板               <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS G 3318</li> <li>・厚 さ 0.27以上</li> </ul> </li> <li>4) 塗装溶融 55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板               <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS G 3322</li> <li>・厚 さ 0.27以上</li> </ul> </li> <li>5) 塩化ビニル鋼板               <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS K 6744</li> <li>・厚 さ 0.27以上</li> </ul> </li> <li>6) 塗装ステンレス鋼板               <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS G 3320</li> <li>・厚 さ 0.25以上</li> </ul> </li> <li>7) 伸銅品               <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚 さ 0.35以上</li> </ul> </li> </ol> </li> </ul>

項 目	申 請 構 造
④外装材 (つづき)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芯 材 1)～5)のうち、いずれか一仕様とする               <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 硬質ウレタンフォーム</li> <li>2) ポリイソシアヌレートフォーム</li> <li>3) フェノールフォーム</li> <li>4) せっこうボード                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厚 さ 9.5 以上</li> </ul> </li> <li>5) ロックウール化粧吸音板                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厚 さ 9, 12</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・ 裏 面 材 1)～4)のうち、いずれか一仕様とする               <ul style="list-style-type: none"> <li>1) はり合わせアルミニウムはく                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厚 さ 0.15 以上(有機質量 160g/m<sup>2</sup> 以下)</li> </ul> </li> <li>2) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厚 さ 0.15 以上(有機質量 65g/m<sup>2</sup> 以下)</li> </ul> </li> <li>3) 塗装ステンレス鋼板                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厚 さ 0.15 以上(有機質量 65g/m<sup>2</sup> 以下)</li> </ul> </li> <li>4) ポリエチレンフィルム裏張アルミニウム蒸着クラフト紙                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厚 さ 0.2 以下(有機質量 170g/m<sup>2</sup> 以下)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・ 総 厚 さ 12 以上</li> <li>・ 働 き 幅 227～455 (但し表面材仕様が 1) 以外かつ芯材仕様が 4) の場合は 160～455)</li> </ul>
⑤断熱材	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>(1) なし</li> <li>(2) ロックウール (平成 12 年建設省告示第 1400 号)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 規 格 JIS A 9504</li> <li>・ 厚 さ 25 以上</li> <li>・ 密 度 20kg/m<sup>3</sup> 以上</li> </ul> </li> <li>(3) グラスウール (平成 12 年建設省告示第 1400 号)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 規 格 JIS A 9504</li> <li>・ 厚 さ 25 以上</li> <li>・ 密 度 10kg/m<sup>3</sup> 以上</li> </ul> </li> </ul>
⑥構造用面材	<ul style="list-style-type: none"> <li>硬質木毛セメント板 (QM-9022)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 規 格 JIS A 5404</li> <li>・ 厚 さ 20 以上</li> <li>・ 寸 法 910×1820</li> <li>・ 比 重 0.9 以上</li> </ul> </li> </ul>
⑦内装材	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>(1) せっこうボード重張 (平成 12 年建設省告示第 1400 号)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厚 さ 12.5 以上+12.5 以上</li> </ul> </li> <li>(2) 強化せっこうボード重張 (平成 12 年建設省告示第 1400 号)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厚 さ 12.5 以上+12.5 以上</li> </ul> </li> </ul>

## 2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
①くぎ・ねじ	<p>[1] 構造用面材留付け用</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 十字穴付き木ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS A 1112</li> <li>・寸 法 <math>\phi 3.8</math> 以上<math>\times</math><math>\ell 50</math> 以上</li> <li>・間 隔 周辺部 220 以下 中間部 220 以下</li> </ul> <p>(2) ドリリングタッピンねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS A 1125</li> <li>・寸 法 <math>\phi 3.9</math> 以上<math>\times</math><math>\ell 50</math> 以上</li> <li>・間 隔 周辺部 220 以下 中間部 220 以下</li> </ul> <p>[2] 内装材留付け用</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 十字穴付き木ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS A 1112</li> <li>・寸 法 <math>\phi 3.3</math> 以上<math>\times</math><math>\ell 40</math> 以上</li> <li>・間 隔 1層目 ボード角部 (1本/角部から 100 以内) 2層目 ボード四周部 (ピッチ 300 以下) ボード中央部 (ピッチ 300 以下)</li> </ul> <p>(2) ドリリングタッピンねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS A 1125</li> <li>・寸 法 <math>\phi 3.5</math> 以上<math>\times</math><math>\ell 40</math> 以上</li> <li>・間 隔 1層目 ボード角部 (1本/角部から 100 以内) 2層目 ボード四周部 (ピッチ 300 以下) ボード中央部 (ピッチ 300 以下)</li> </ul> <p>[3] 外装材留付け用</p> <p>(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする。</p> <p>(1) 工業用ステーブル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS A 5556</li> <li>・寸 法 <math>\phi 1.58</math> 以上<math>\times</math>効き代 20 以上</li> <li>・間 隔 500 以下</li> </ul> <p>(2) 十字穴付き木ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS A 1112</li> <li>・寸 法 <math>\phi 3</math> 以上<math>\times</math>効き代 20 以上</li> <li>・間 隔 500 以下</li> </ul> <p>(3) ドリリングタッピンねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS A 1125</li> <li>・寸 法 <math>\phi 3.5</math> 以上<math>\times</math>効き代 20 以上</li> <li>・間 隔 500 以下</li> </ul> <p>(4) くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS A 5508</li> <li>・寸 法 <math>\phi 2.3</math> 以上<math>\times</math>効き代 20 以上</li> <li>・間 隔 500 以下</li> </ul>

(寸法単位:mm)

項 目	申 請 構 造
①くぎ・ねじ (つづき)	[4] 通気胴縁留付け用 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) なし (2) 十字穴付き木ねじ ・規 格 JIS A 1112 ・寸 法 $\phi 3.5$ 以上×効き代 20 以上 ・間 隔 300 以下 [5] 目地塞ぎ材留付け用 工業用ステープル ・規 格 JIS A 5556 ・寸 法 $\phi 0.92$ 以上× $\ell 10$ 以上 ・間 隔 280 以下 [6] 防水紙留付け用 工業用ステープル ・規 格 JIS A 5556 ・寸 法 $\phi 0.92$ 以上× $\ell 10$ 以上 ・間 隔 500 以下
②目地塞ぎ材	酸化カルシウム・二酸化けい素系繊維フェルト (NM-1089) ・厚 さ 6 以上 ・幅 50 以上
③防水紙	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) 透湿防水シート ・規 格 JIS A 6111 ・厚 さ 0.17 以下 ・材 質 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1) ポリエチレン 2) ポリエステル 3) ポリプロピレン (2) なし
④通気胴縁	外装材の仕様がスパンドレル及び角波鋼板の場合は(1)、木又は金属サイディングの場合は(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) なし (2) 木 ・寸 法 12 以上×30 以上

項 目	申 請 構 造
⑤外装材目地部材	<p>外装材の仕様が木の場合は(1)、スパンドレル、角波鋼板及び複合金属サイディングの場合で、幅方向にできる目地については(1)、長さ方向にできる目地については(2)、(2)と(4)の併用、(2)と(3)と(4)の併用又は(5)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)なし 突つけ目地又は重なり目地の場合</p> <p>(2)ジョイナー</p> <p>1)～7)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1)カラーアルミ (NM-8597, NM-8598) ・厚 さ 1.1 以上</p> <p>2)塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・規 格 JIS G 3312 ・厚 さ 0.25 以上</p> <p>3)塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 ・規 格 JIS G 3318 ・厚 さ 0.25 以上</p> <p>4)塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ・規 格 JIS G 3322 ・厚 さ 0.25 以上</p> <p>5)塩化ビニル鋼板 ・規 格 JIS K 6744 ・厚 さ 0.25 以上</p> <p>6)塗装ステンレス鋼板 ・規 格 JIS G 3320 ・厚 さ 0.25 以上</p> <p>7)FRP(樹脂ジョイナー) ・規 格 JIS K 7011 ・厚 さ 1 以上</p> <p>(3)シーリング材 建築用シーリング材(JIS A 5758)に規定される以下の</p> <p>1)～6)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1)ポリウレタン系樹脂 2)アクリルウレタン系樹脂 3)ポリサルファイド系樹脂 4)変性ポリサルファイド系樹脂 5)シリコン系樹脂 6)変性シリコン系樹脂 ・使用量 56g/m 以上</p>

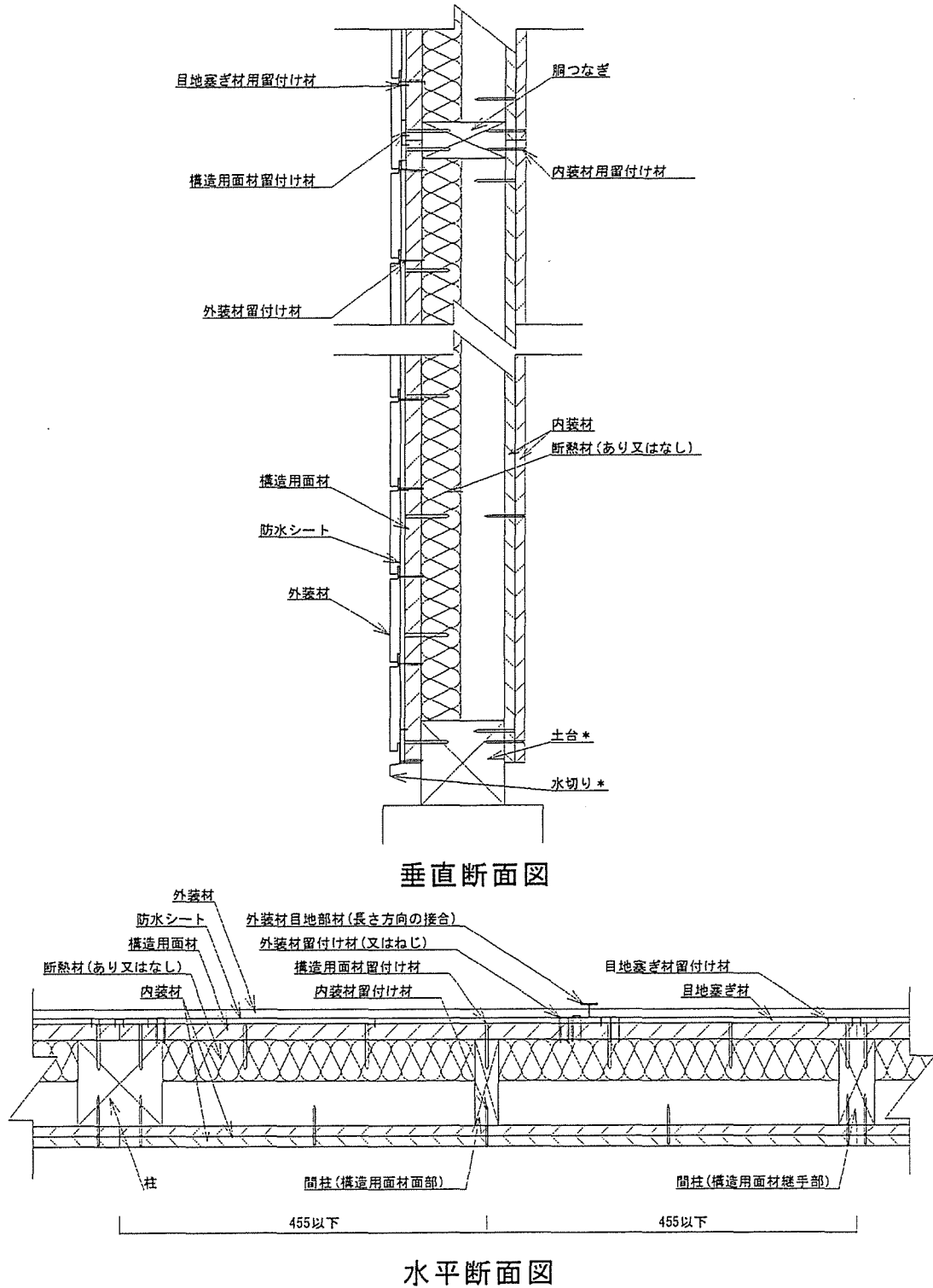
項 目	申 請 構 造
⑤外装材目地部材 (つづき)	(4) キャップ 1) ~7)のうち、いずれか一仕様とする 1) カラーアルミ (NM-8597, NM-8598) ・厚 さ 0.6 以上 2) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・規 格 JIS G 3312 ・厚 さ 0.25 以上 3) 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 ・規 格 JIS G 3318 ・厚 さ 0.25 以上 4) 塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ・規 格 JIS G 3322 ・厚 さ 0.25 以上 5) 塩化ビニル鋼板 ・規 格 JIS K 6744 ・厚 さ 0.25 以上 6) 塗装ステンレス鋼板 ・規 格 JIS G 3320 ・厚 さ 0.25 以上 7) FRP ・規 格 JIS K 7011 ・厚 さ 1 以上 (5) 水切り 1) ~7)のうち、いずれか一仕様とする 1) カラーアルミ (NM-8597, NM-8598) ・厚 さ 0.6 以上 2) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・規 格 JIS G 3312 ・厚 さ 0.25 以上 3) 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 ・規 格 JIS G 3318 ・厚 さ 0.25 以上 4) 塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ・規 格 JIS G 3322 ・厚 さ 0.25 以上 5) 塩化ビニル鋼板 ・規 格 JIS K 6744 ・厚 さ 0.25 以上 6) 塗装ステンレス鋼板 ・規 格 JIS G 3320 ・厚 さ 0.25 以上 7) FRP ・規 格 JIS K 7011 ・厚 さ 1 以上
⑥パテ	せっこう系パテ ・塗 布 量 140g/m 以上



4. 構造説明図

(寸法単位：mm)

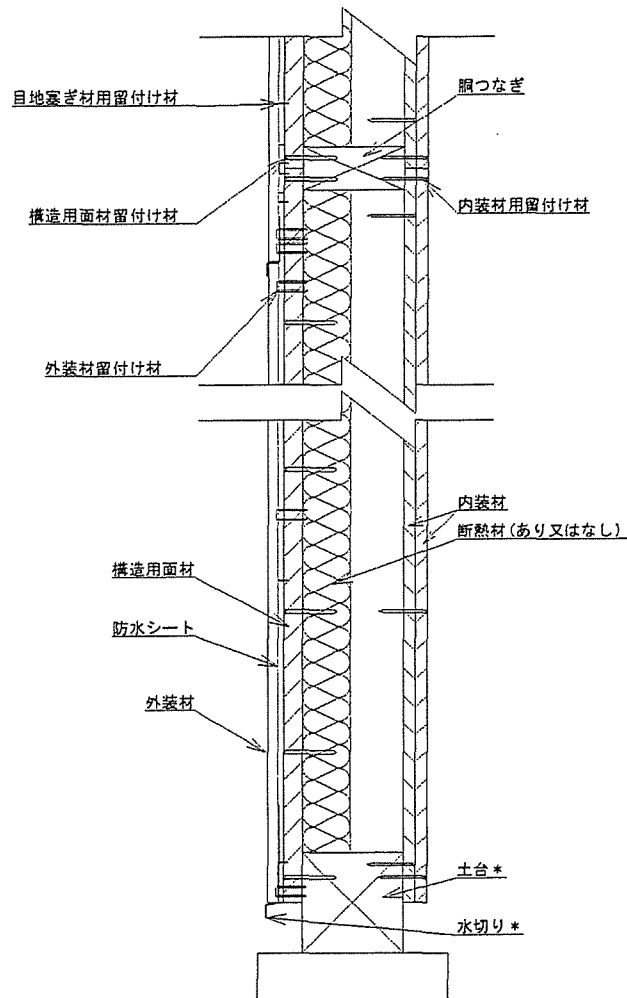
外装材(スパンドレル\_横張)



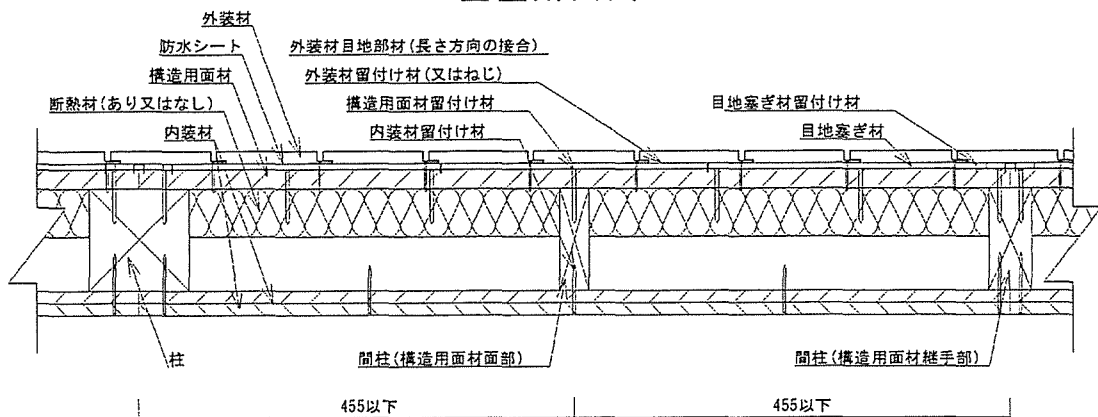
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

\* : 本評価内容に含まない

# 外装材(スパンドレル\_縦張)



垂直断面図

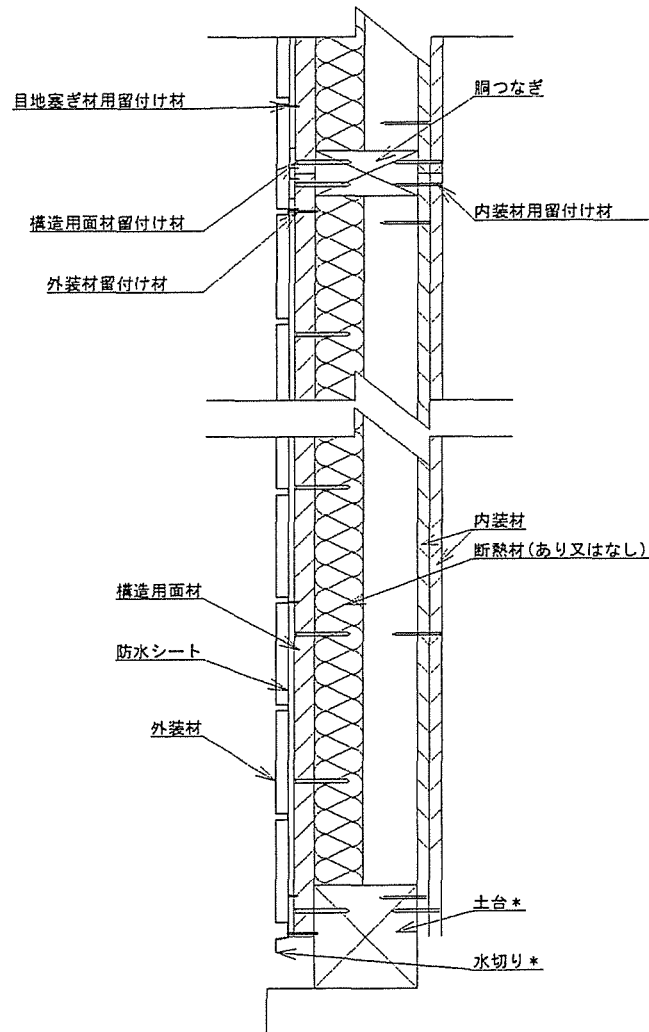


水平断面図

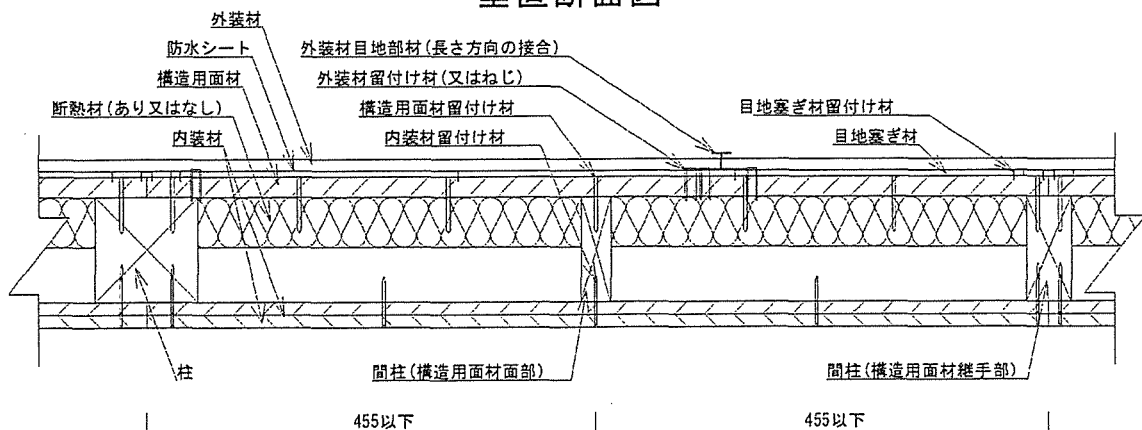
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

\* : 本評価内容に含まない

# 外装材(角波鋼板\_横張)



垂直断面図

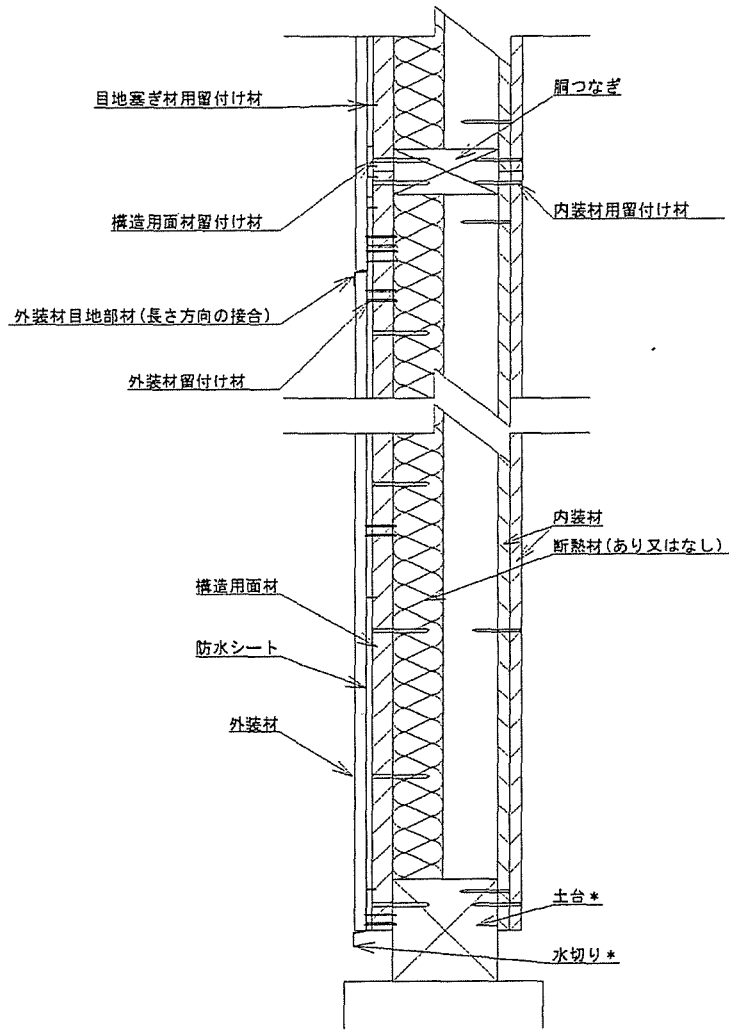


水平断面図

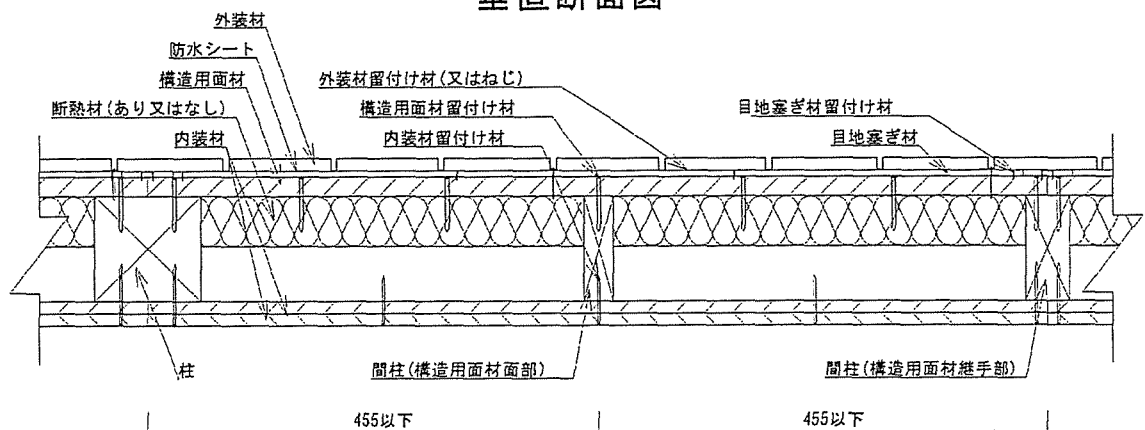
注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

\* : 本評価内容に含まない

# 外装材(角波鋼板\_縦張)



垂直断面図



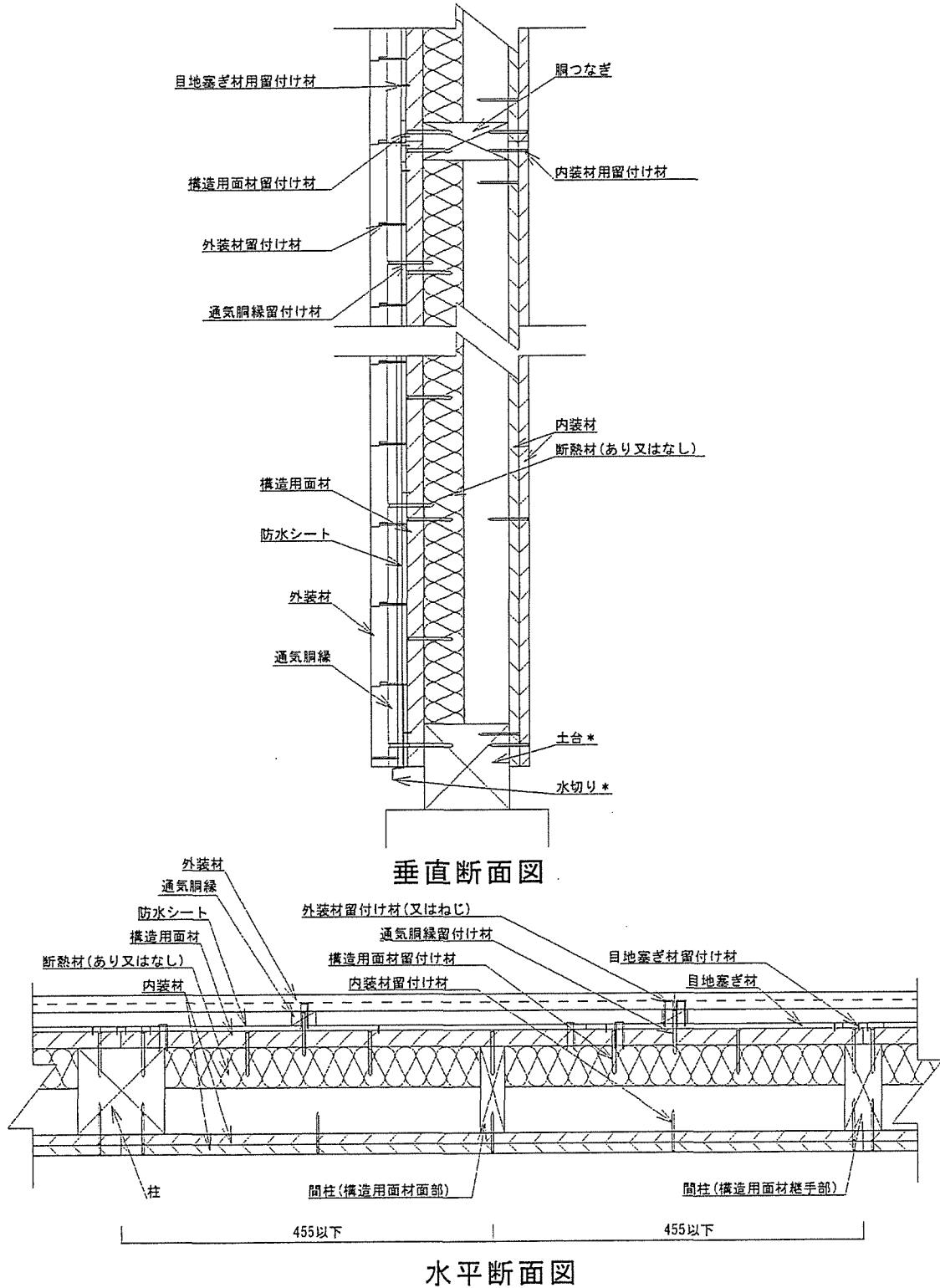
水平断面図

注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

\* : 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

### 外装材(木\_横張\_通気胴縁あり)

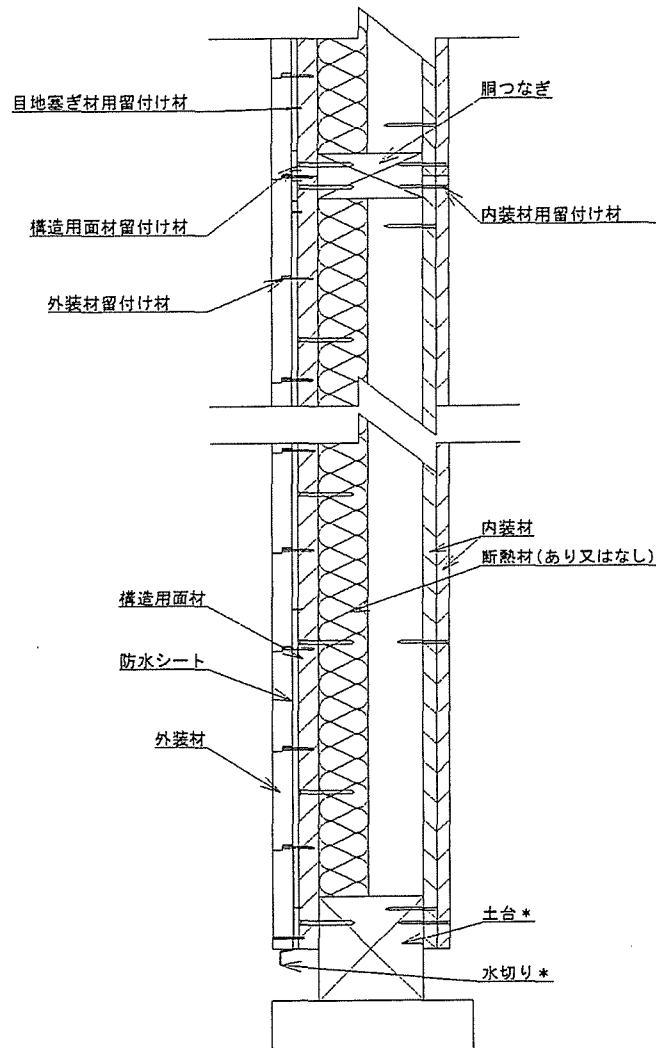


注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

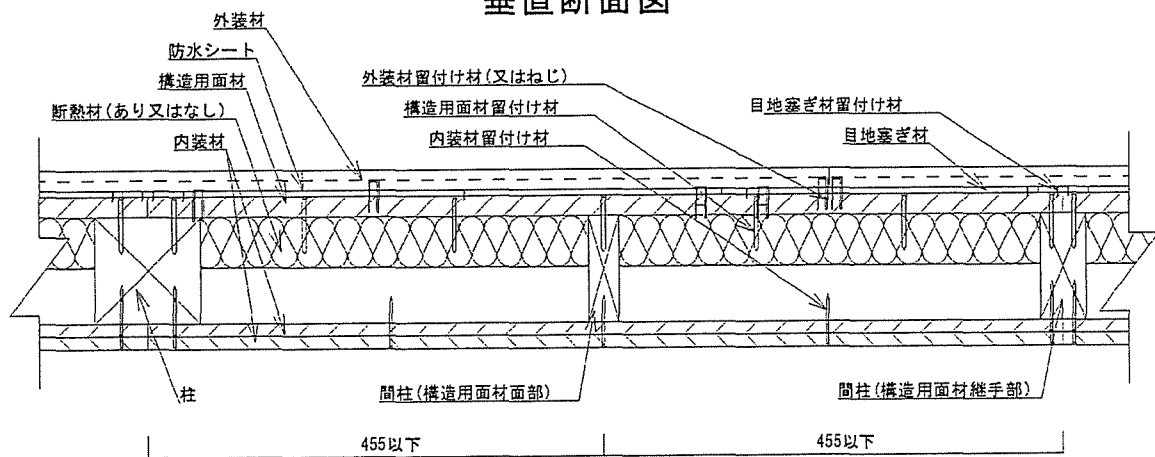
\* : 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

# 外装材(木\_横張\_通気胴縁なし)



垂直断面図

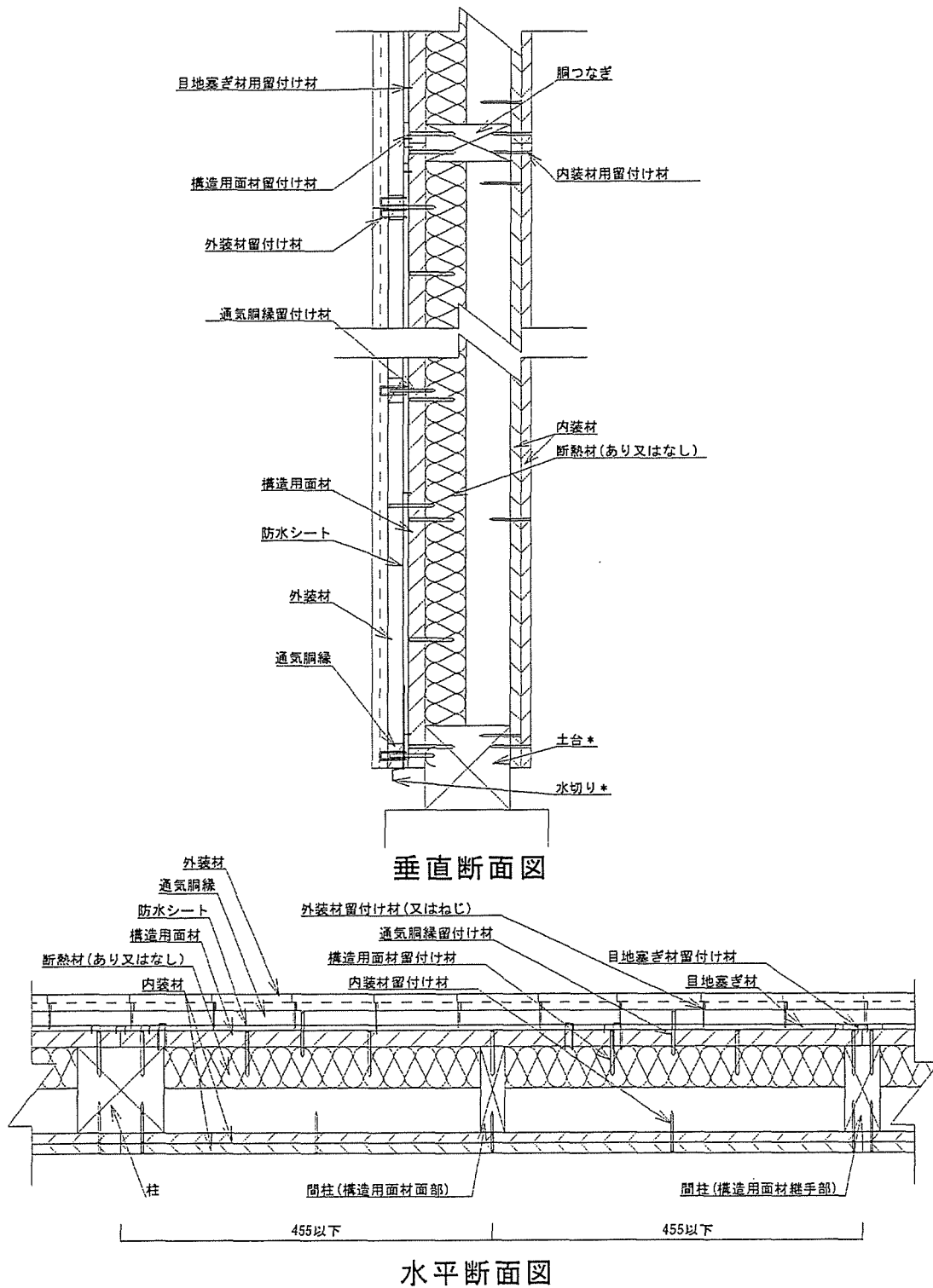


水平断面図

注) 寸法および材料構成は2 および3 のとおり

\* : 本評価内容に含まない

### 外装材(木\_縦張\_通気胴縁あり)

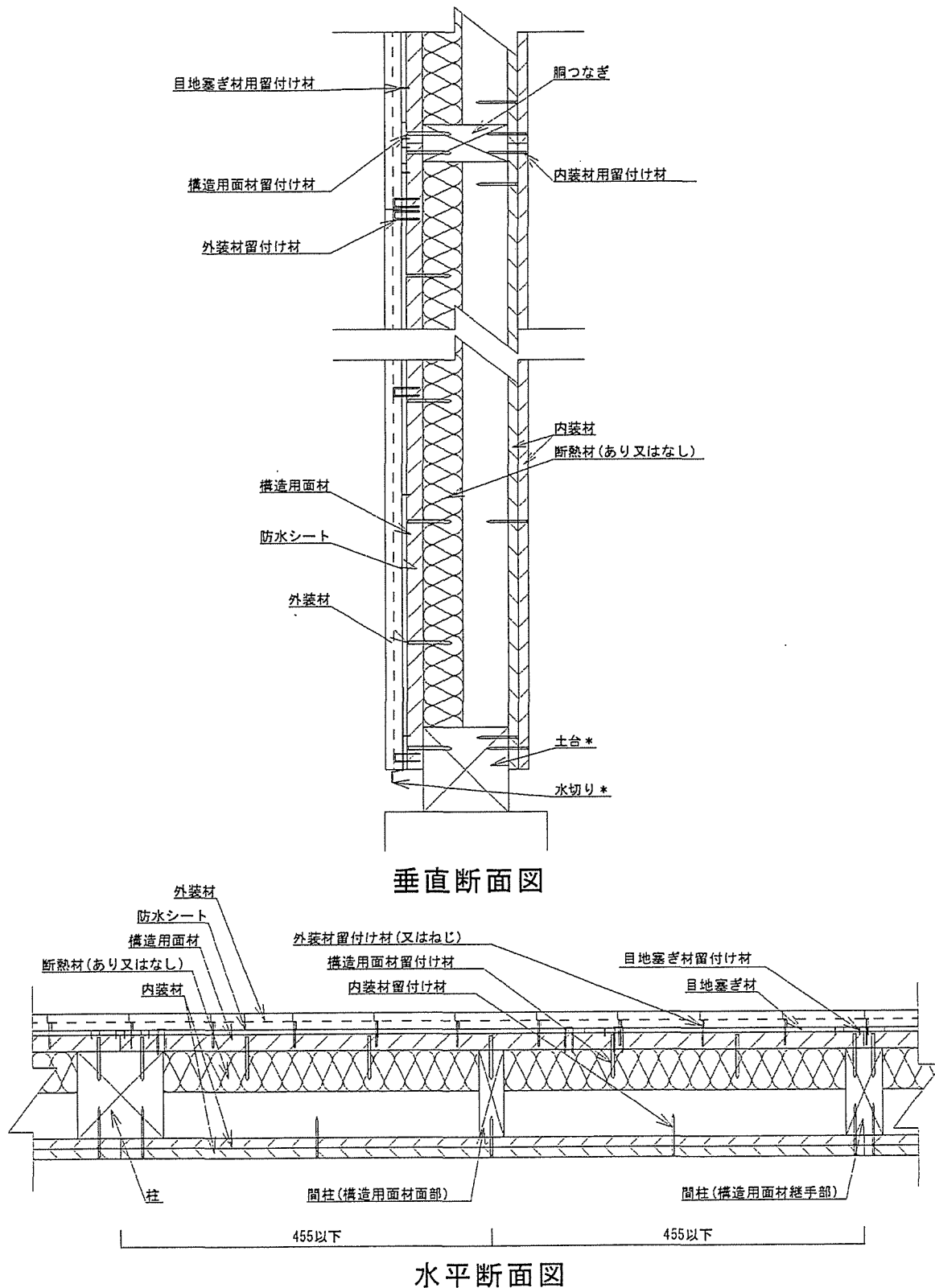


注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

\* : 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

### 外装材(木\_縦張\_通気胴縁なし)



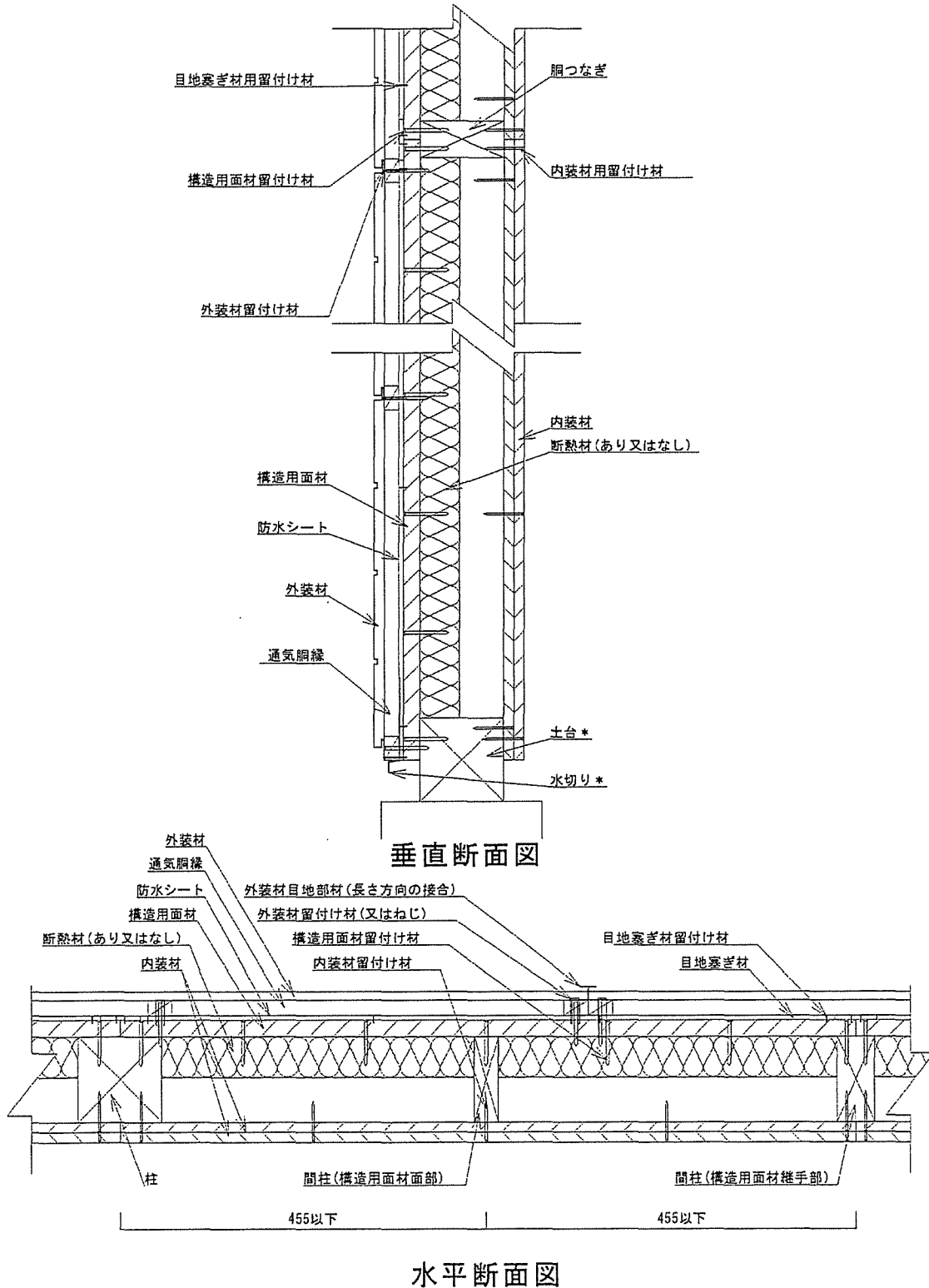
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

\* : 本評価内容に含まない



(寸法単位:mm)

### 外装材(金属サイディング\_横張\_通気胴縁あり)

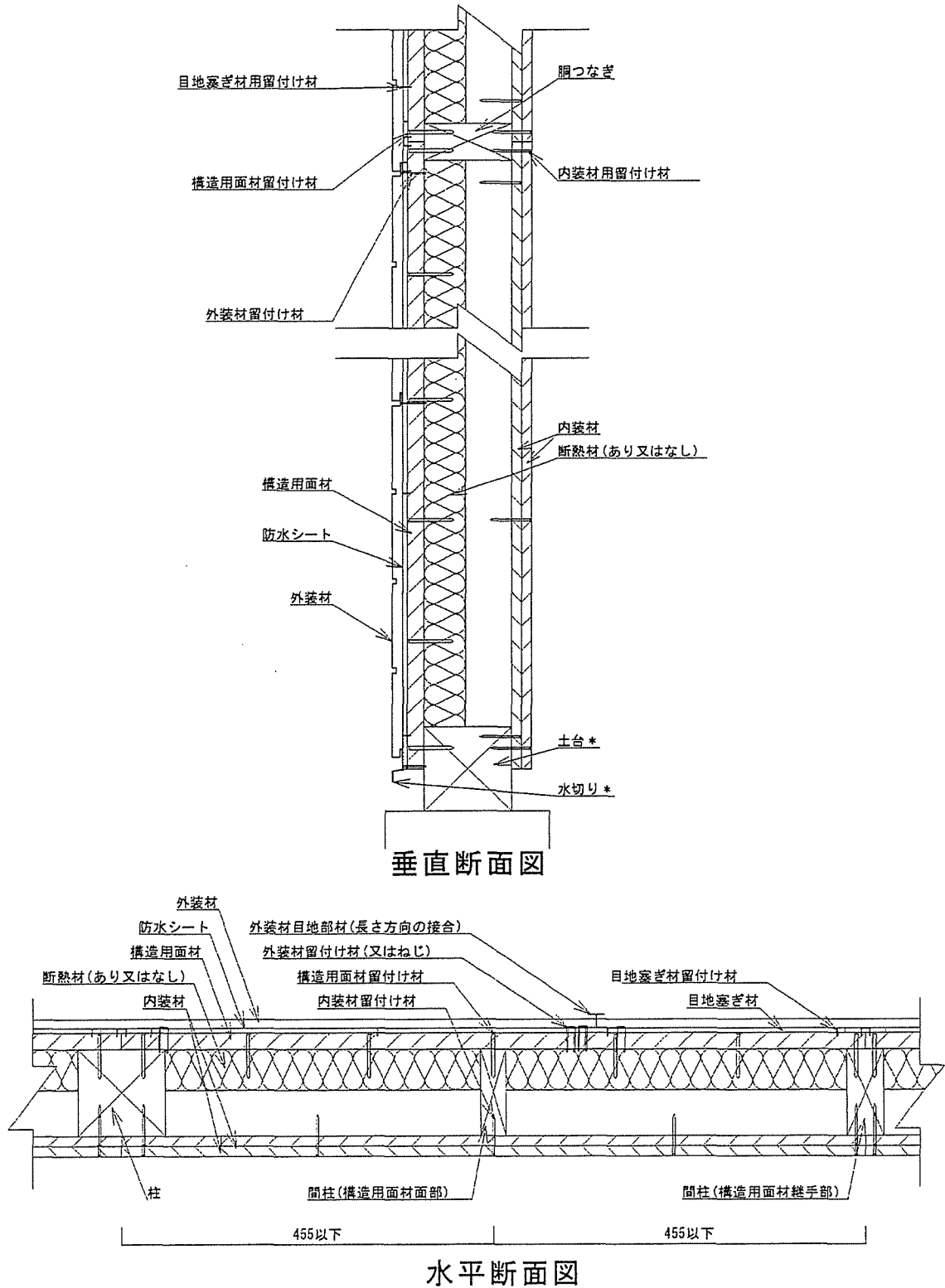


注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

\* : 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

### 外装材(金属サイディング\_横張\_通気胴縁なし)

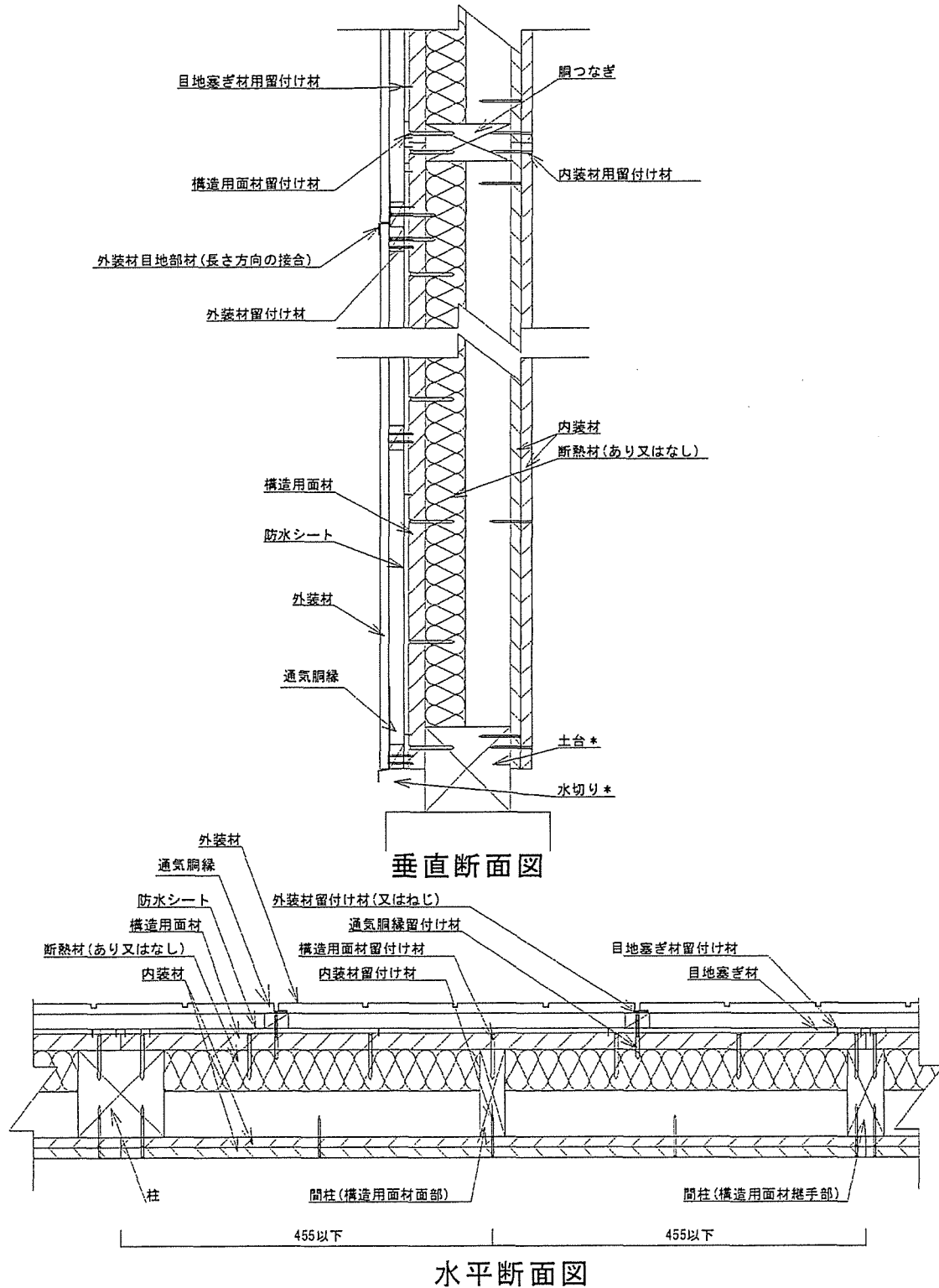


注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

\* : 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

### 外装材(金属サイディング\_縦張\_通気胴縁あり)

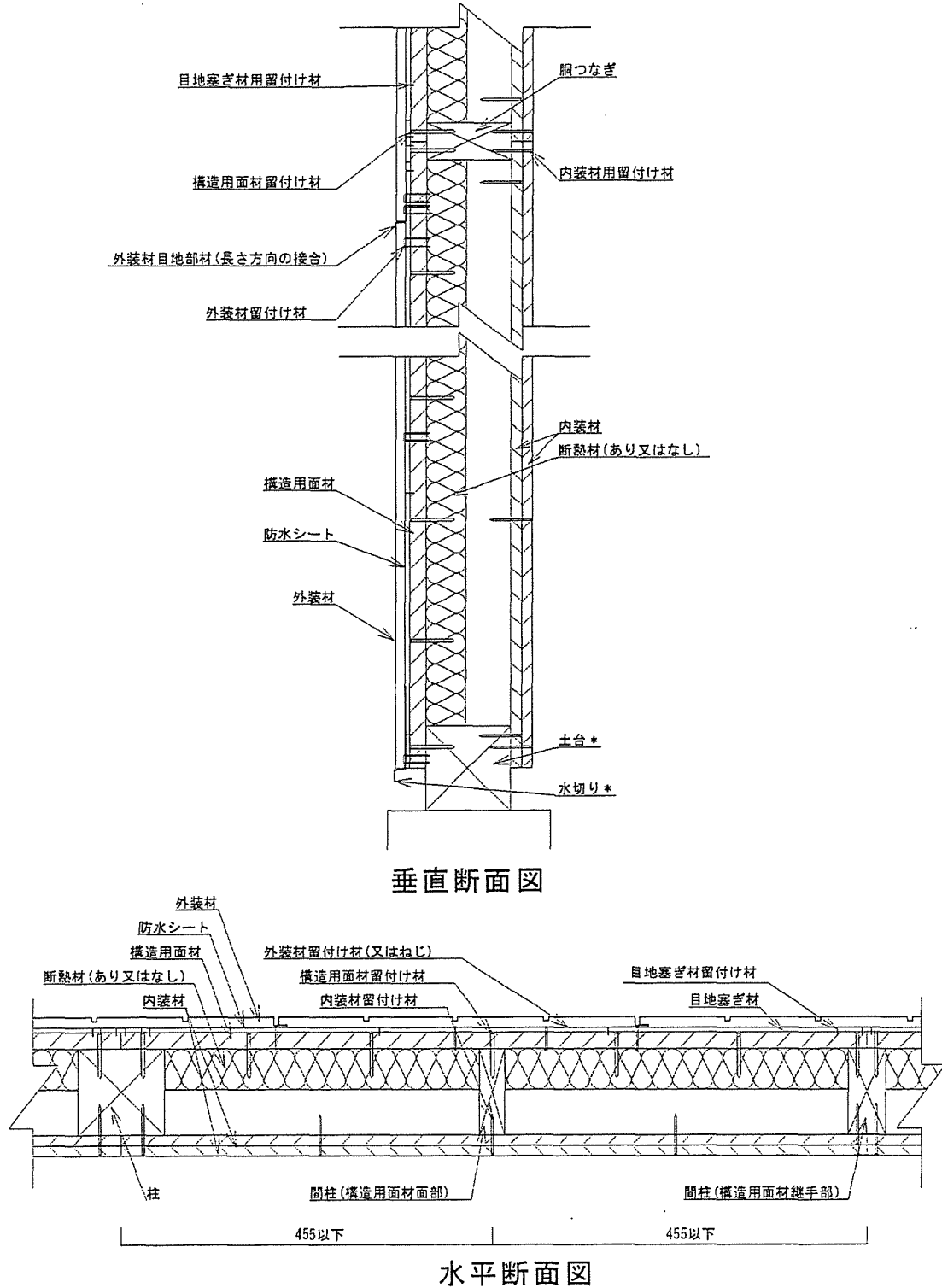


注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

\* : 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

### 外装材(金属サイディング\_縦張\_通気胴縁なし)

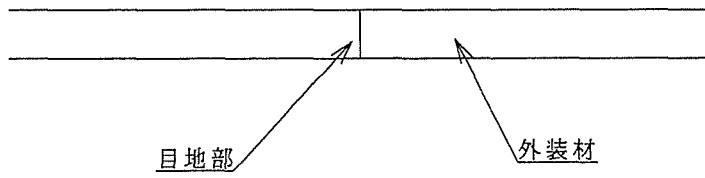


注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり  
\* : 本評価内容に含まない

<目地詳細図>

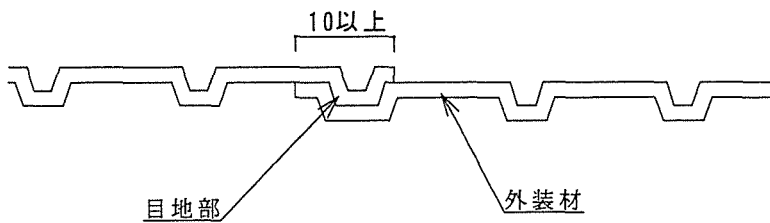
1) 突きつけ目地

イ) 外装材が「木」で、外装材の長さ方向及び幅方向にできる目地

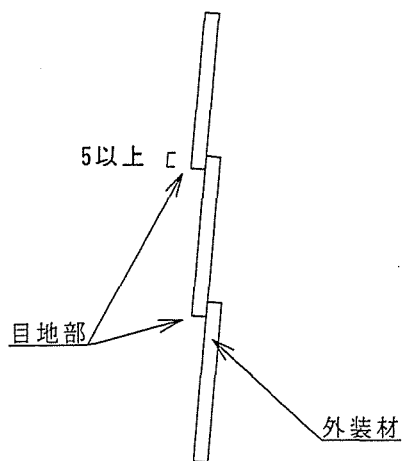


2) 重なり目地

イ) 外装材が「角波鋼板」で、外装材の幅方向にできる目地



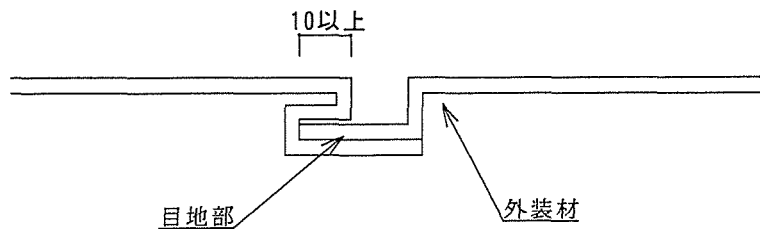
ロ) 外装材が「木」の横張りで、外装材の幅方向にできる目地



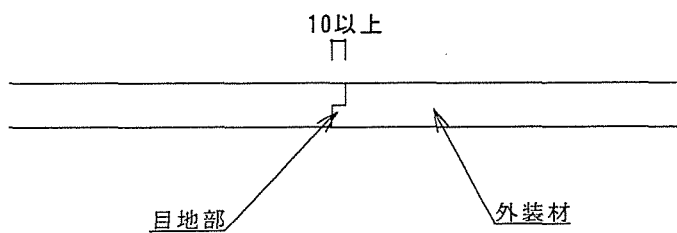
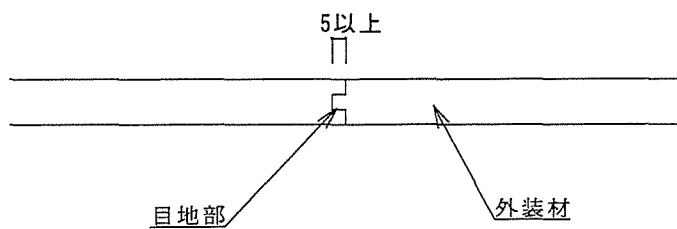
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

### 3) 合いじゃくり・本実目地

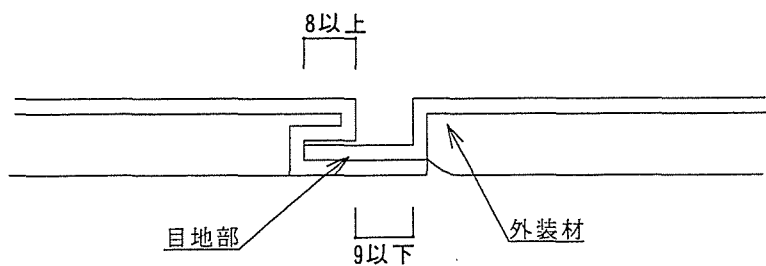
イ) 外装材が「スパンドレル」で、外装材の幅方向にできる目地



ロ) 外装材が「木」で、外装材の幅方向にできる目地



ハ) 外装材が「複合金属サイディング」で、外装材の幅方向にできる目地

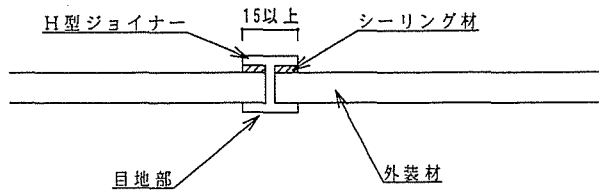


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

(寸法単位:mm)

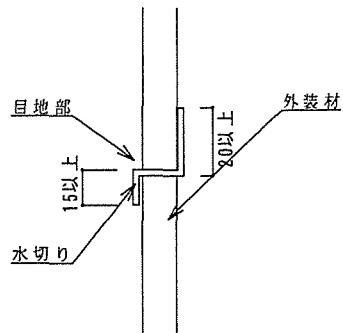
#### 4) ジョイナー目地

イ) 外装材が「スパンドレル」又は「角波銅板」で、外装材の幅方向にできる目地



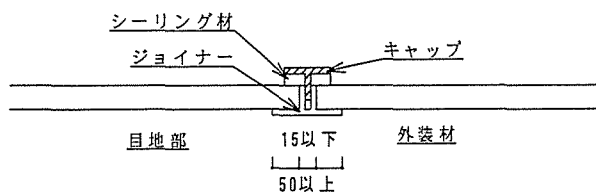
#### 5) 水切り目地

イ) 外装材が「スパンドレル」、「角波銅板」又は「複合金属サイディング」の縦張りで、外装材の長さ方向にできる目地



#### 6) ジョイナーとキャップの併用目地

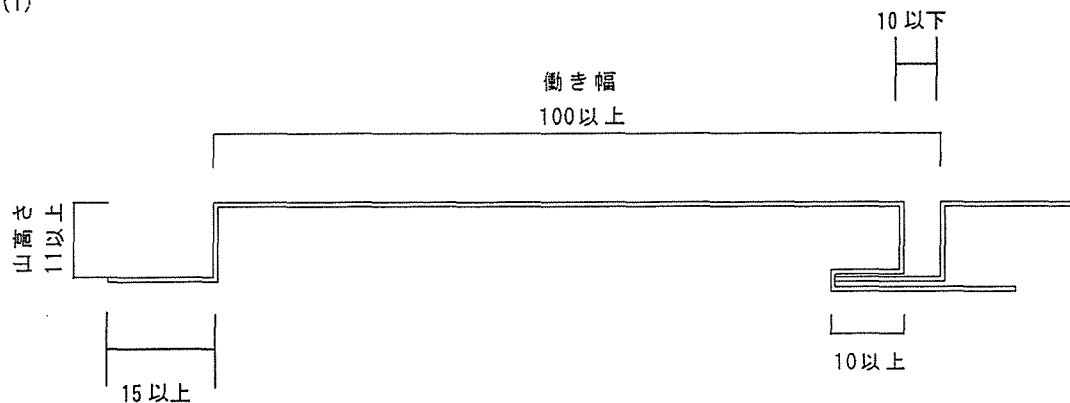
イ) 外装材が「複合サイディング」の横張りで、外装材の長さ方向にできる目地



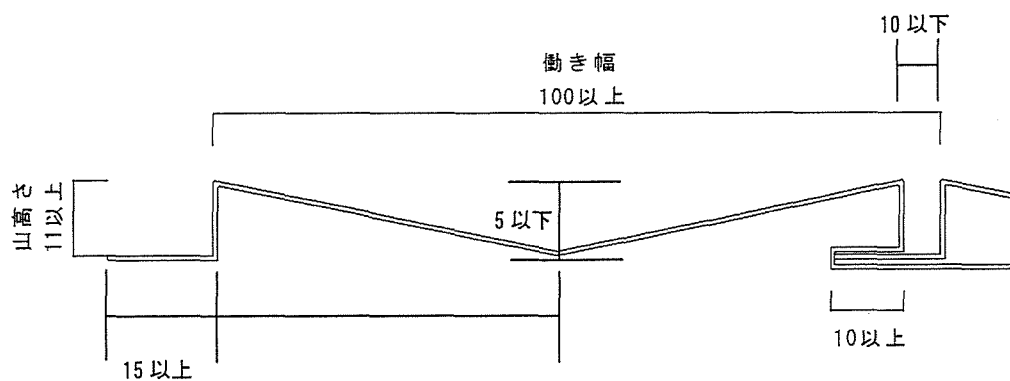
注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

スパンドレル

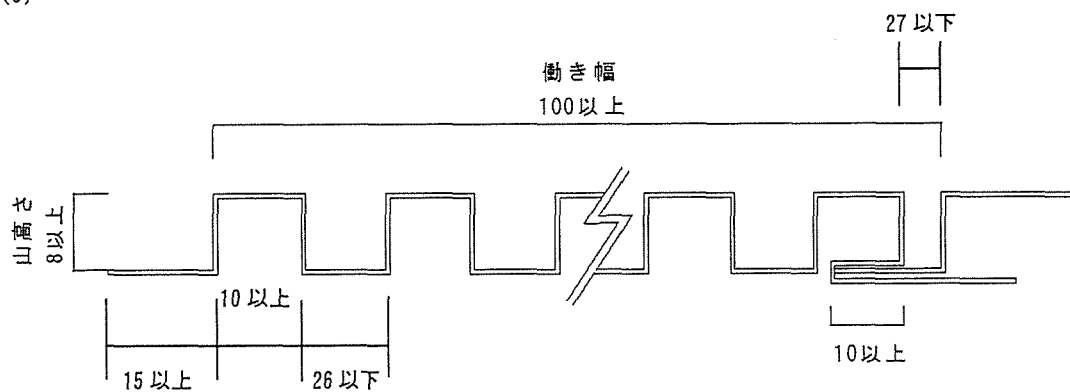
(1)



(2)



(3)

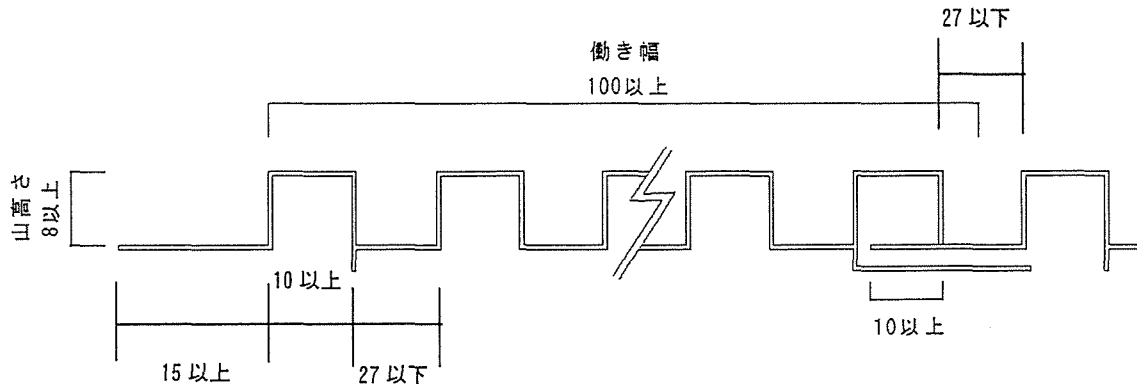


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

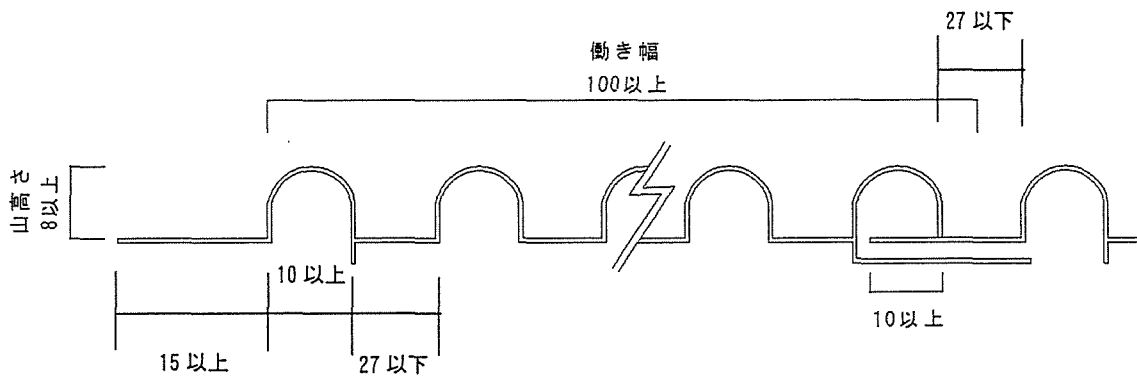


(寸法単位:mm)

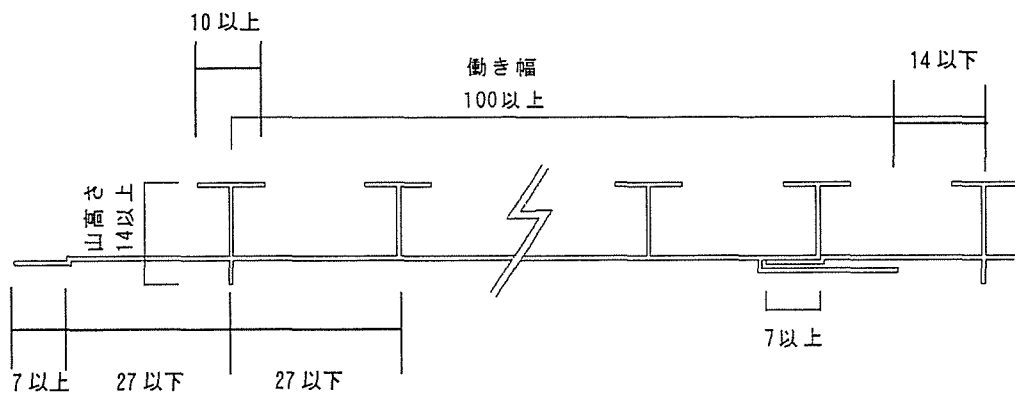
(4)



(5)



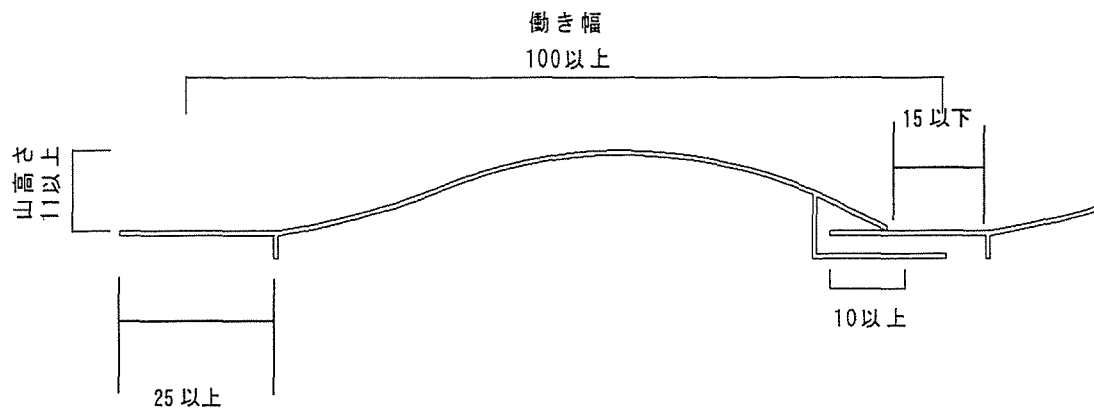
(6)



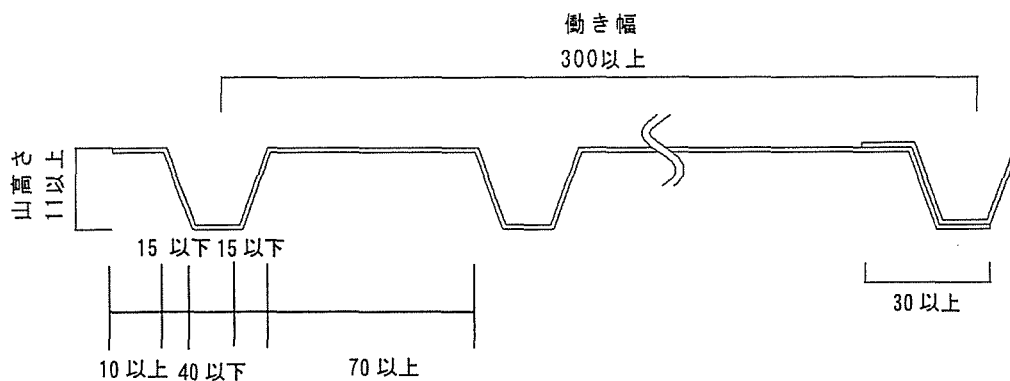
注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

(寸法単位:mm)

(7)

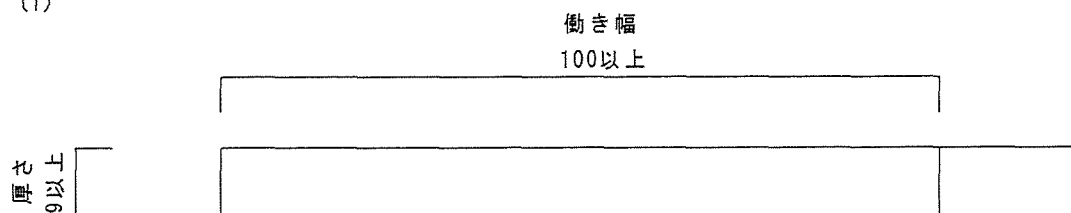


### 角波鋼板



### 木

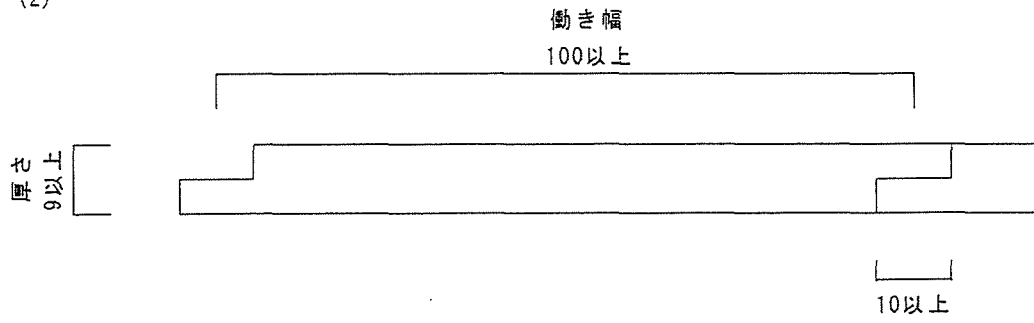
(1)



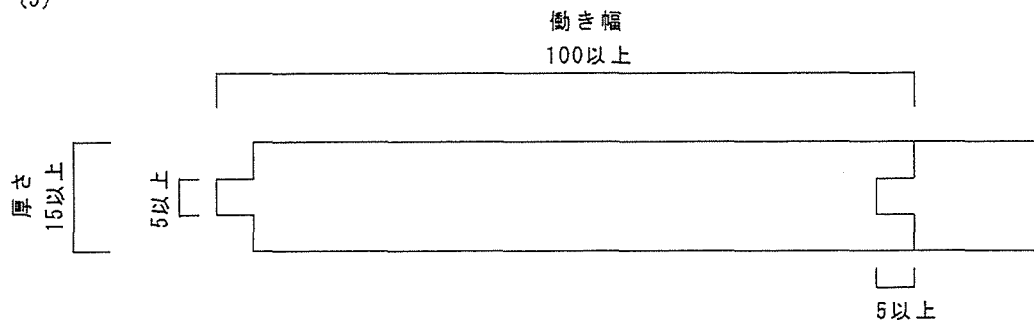
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

(寸法単位:mm)

(2)

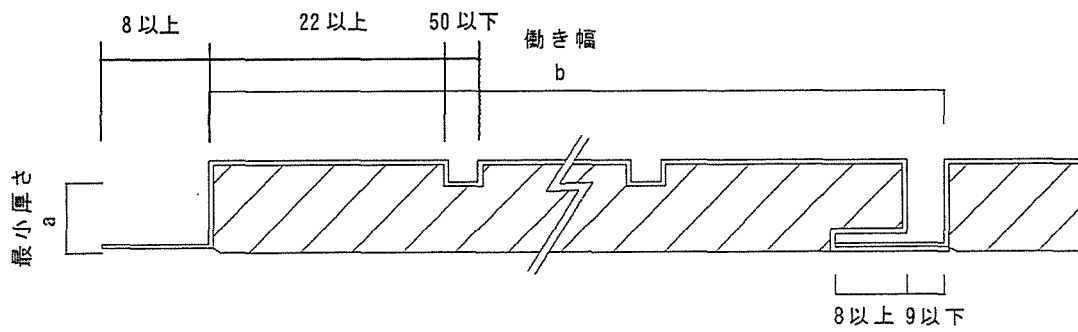


(3)



### 複合金属サイディング

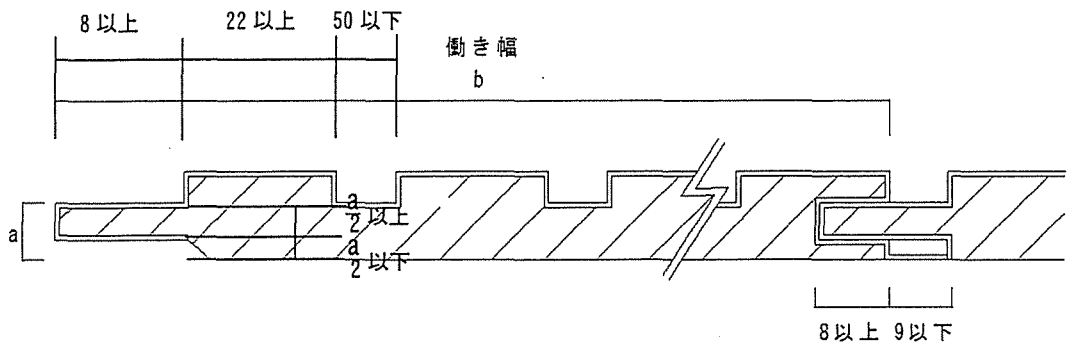
(1)



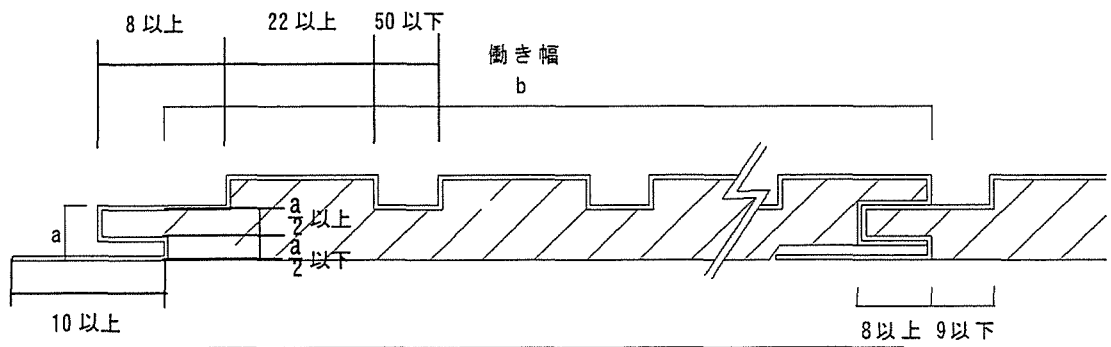
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

(寸法単位:mm)

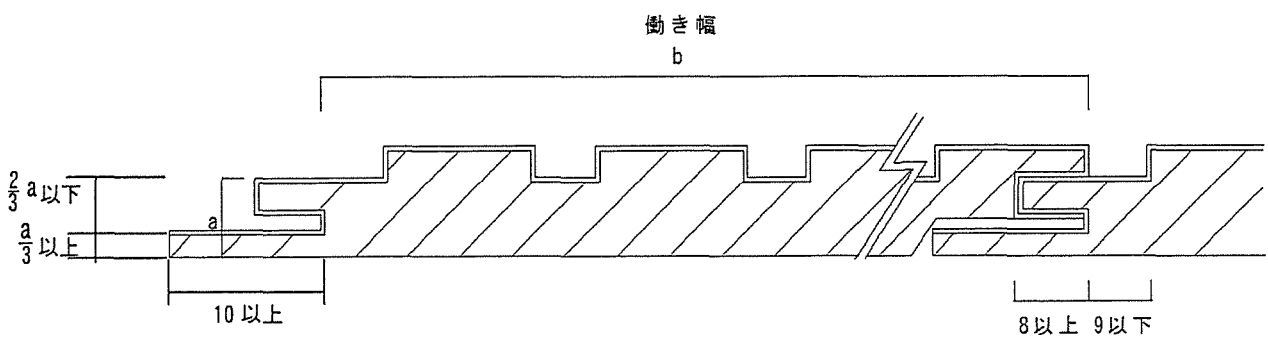
(2)



(3)



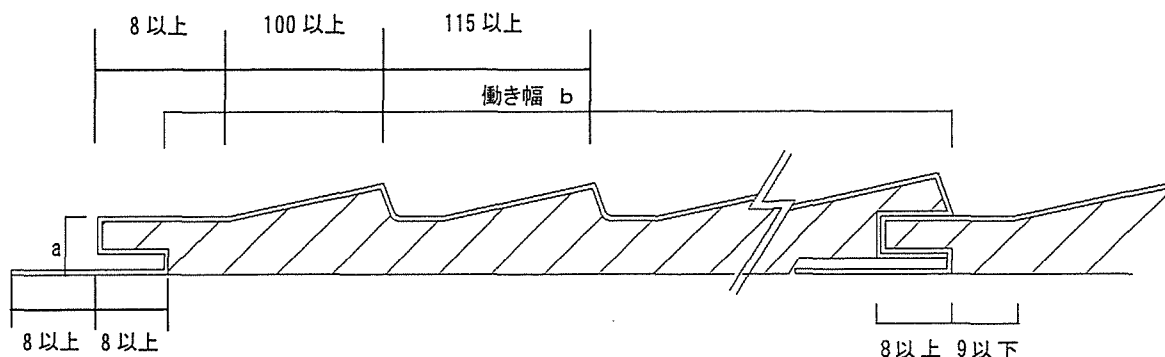
(4)



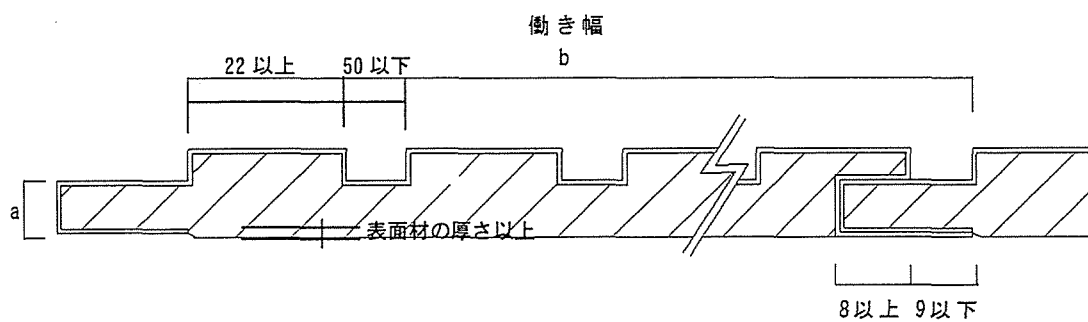
注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

(寸法単位:mm)

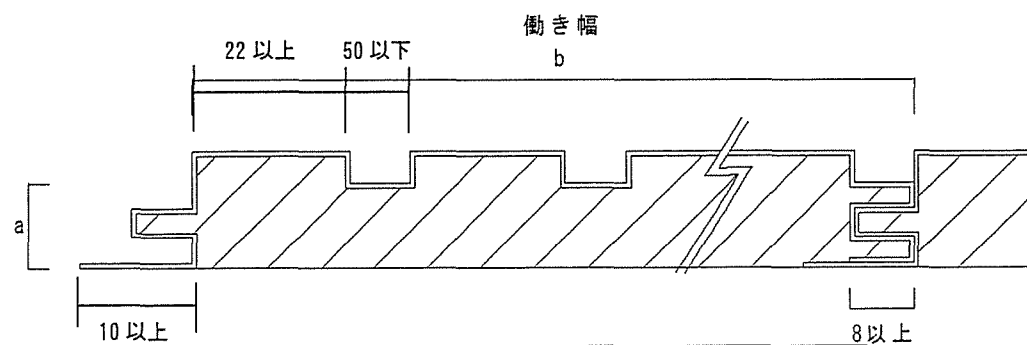
(5)



(6)



(7)

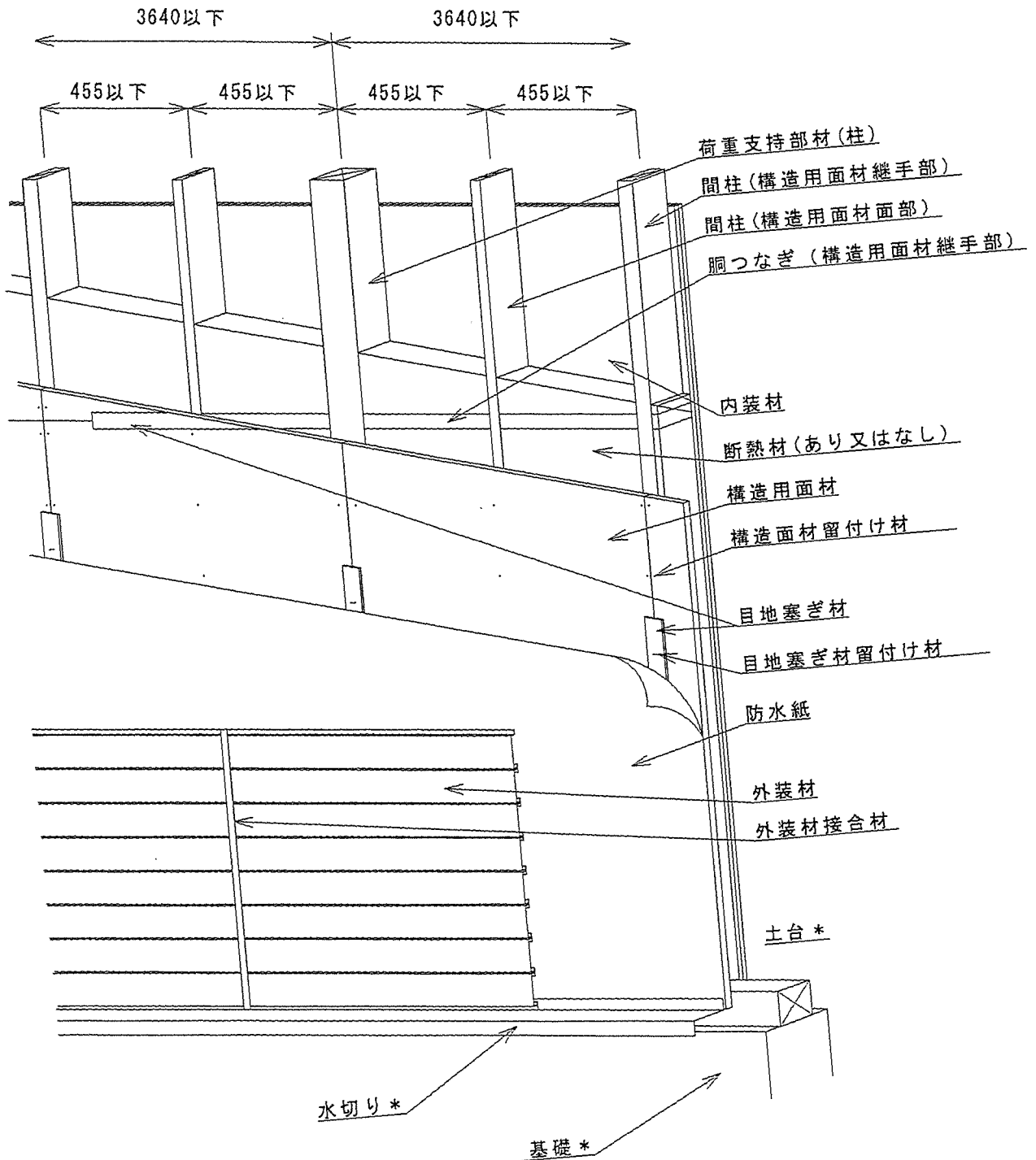


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

5. 施工方法等

〈施工図〉

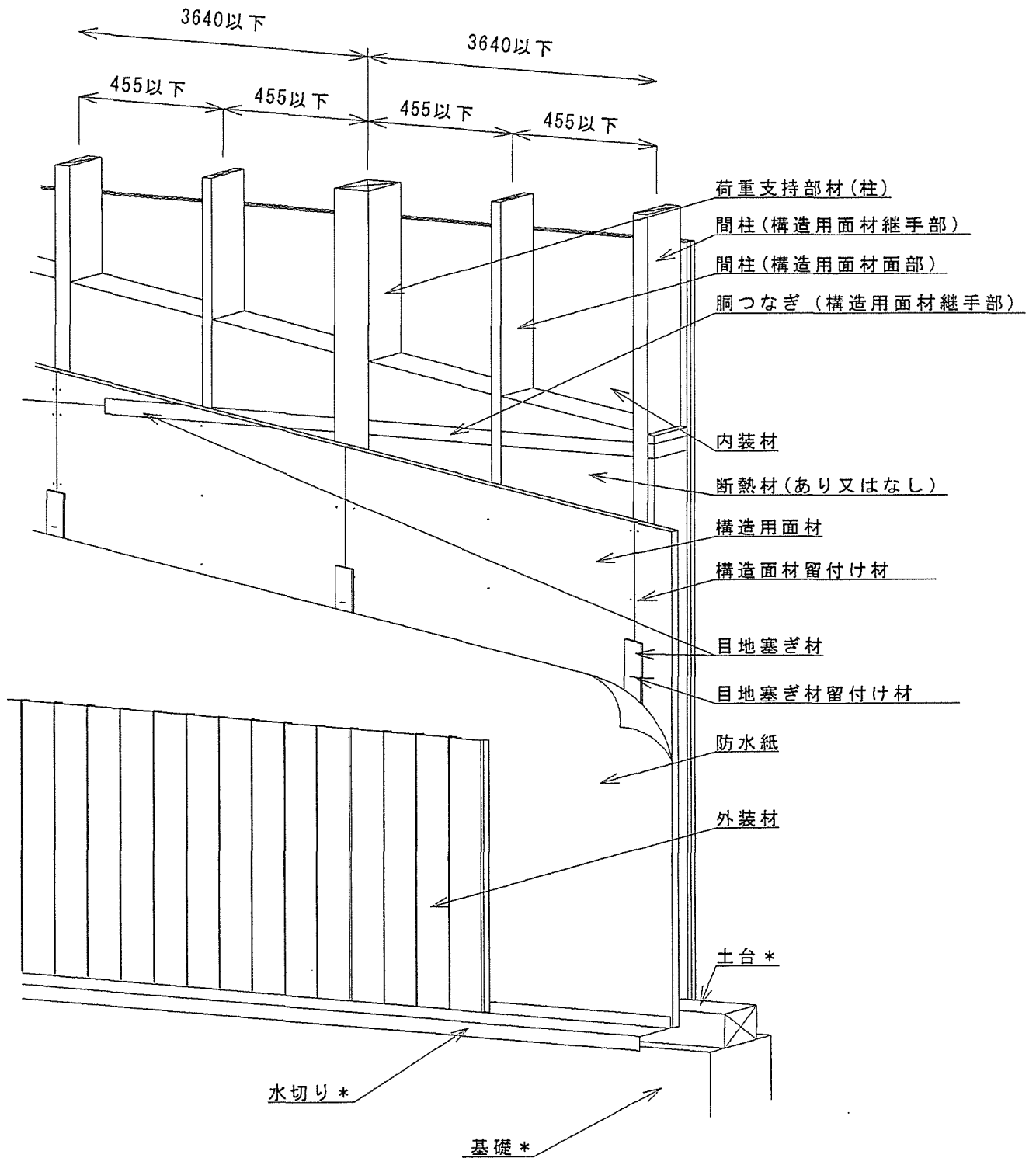
# 外装材 (スパンドレル 横張)



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり  
\* : 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

## 外装材 (スパンドレル 縦張)

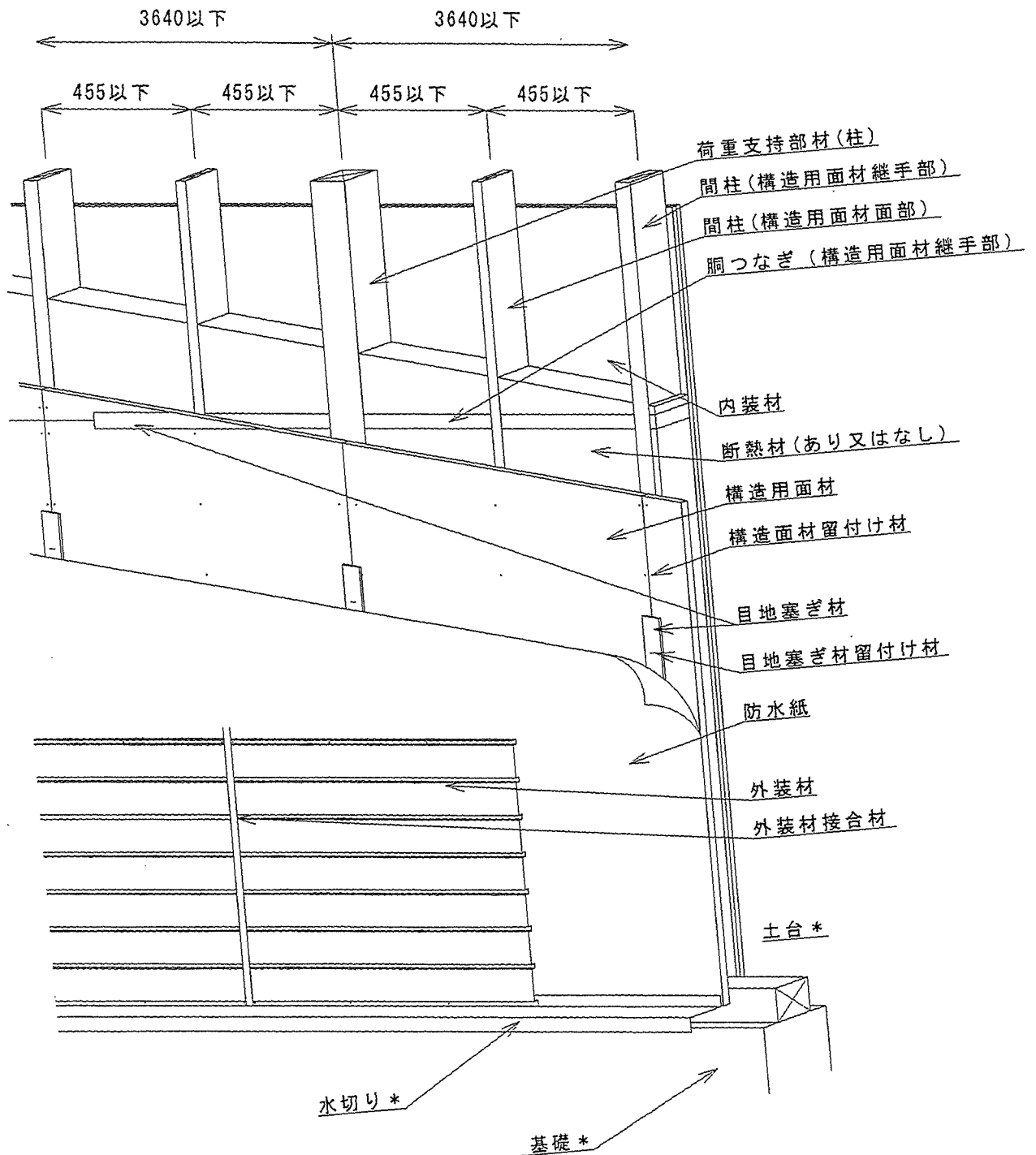


注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

\* : 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

# 外装材 (角波鋼板 横張)

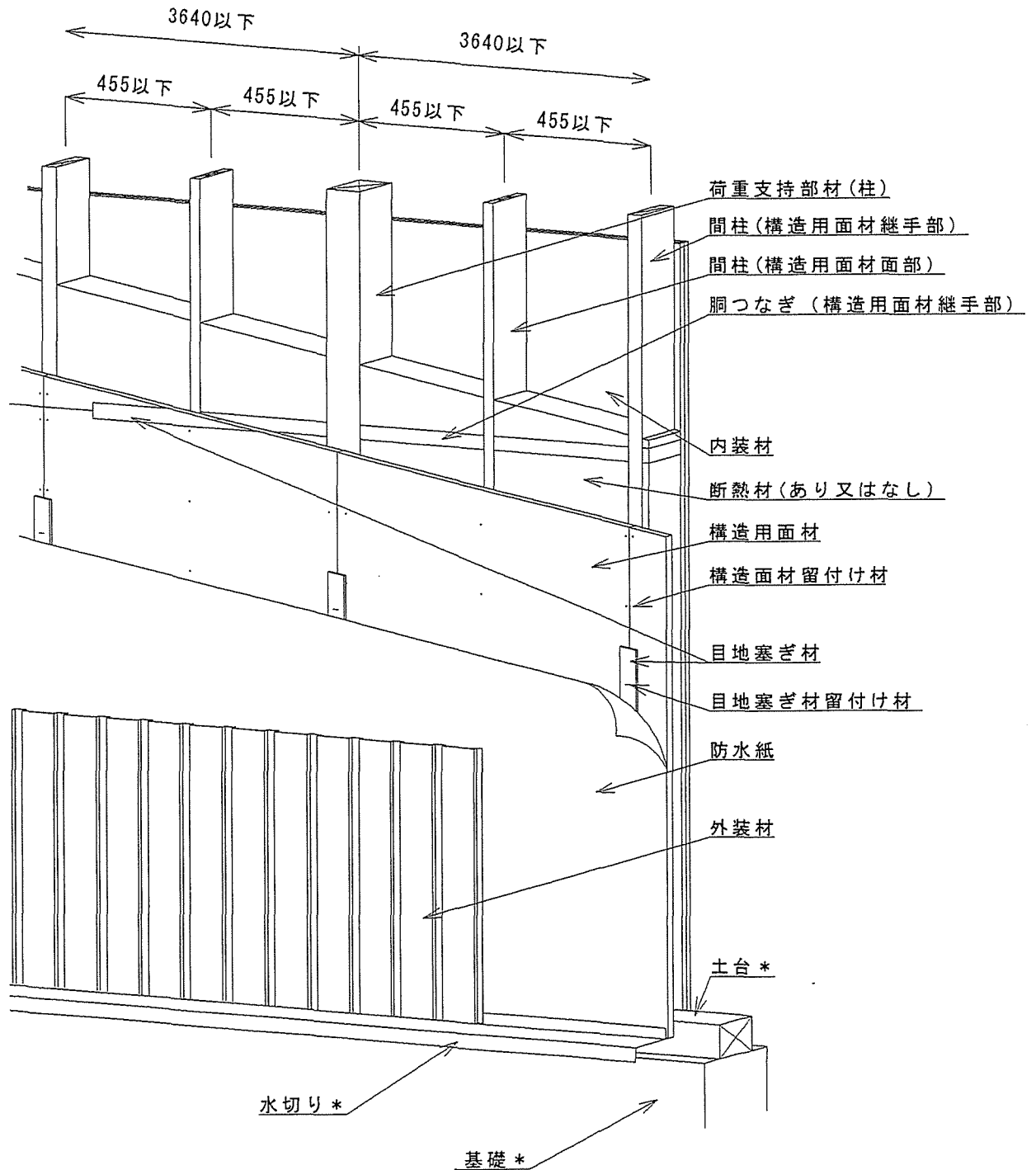


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり  
\*: 本評価内容に含まない



(寸法単位:mm)

## 外装材 (角波鋼板 縦張)

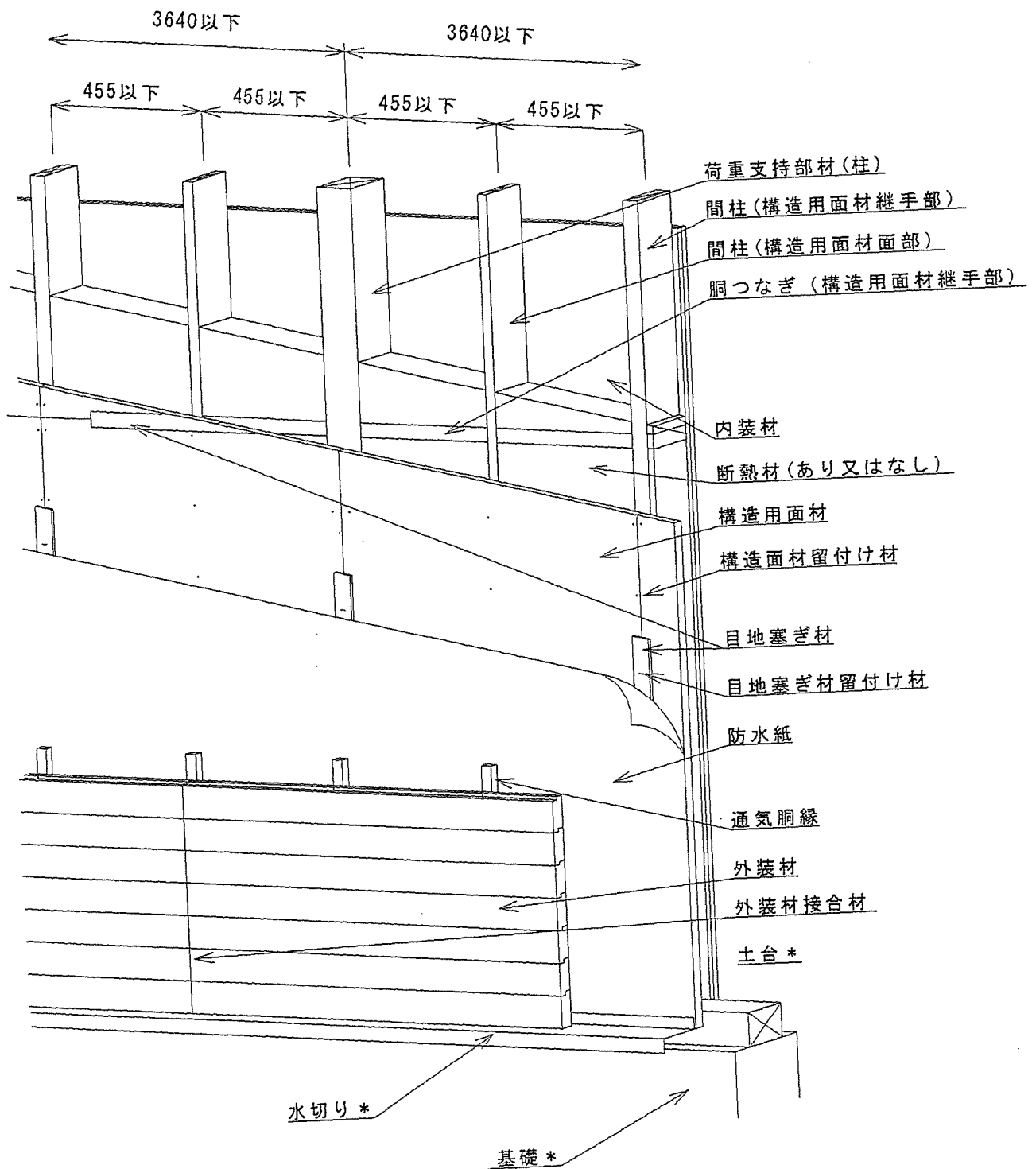


注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

\* : 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

# 外装材 (木 横張 通気胴縁あり)

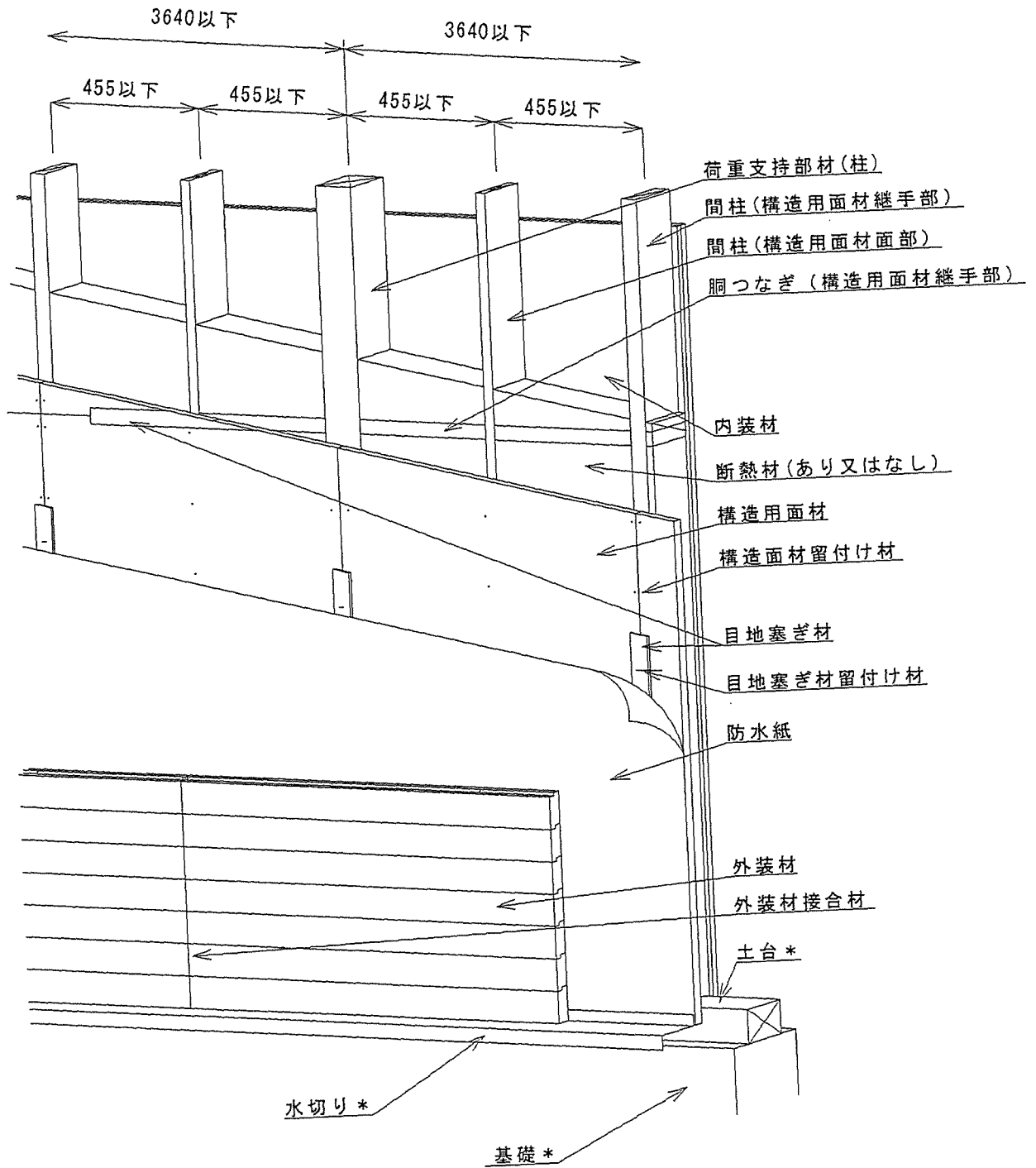


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

\* : 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

# 外装材 (木 横張 通気胴縁なし)

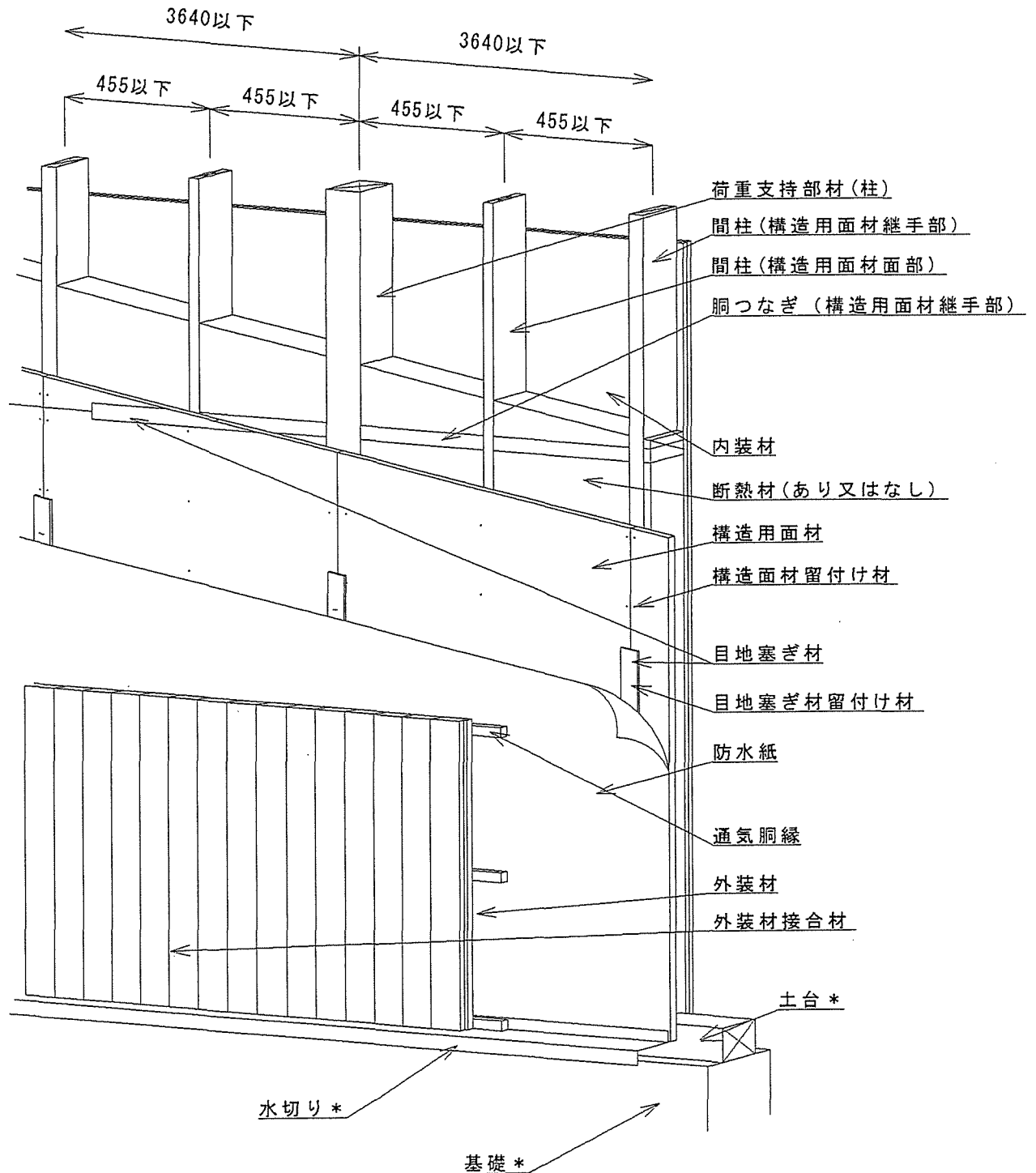


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

\* : 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

## 外装材 (木 縦張 通気胴縁あり)

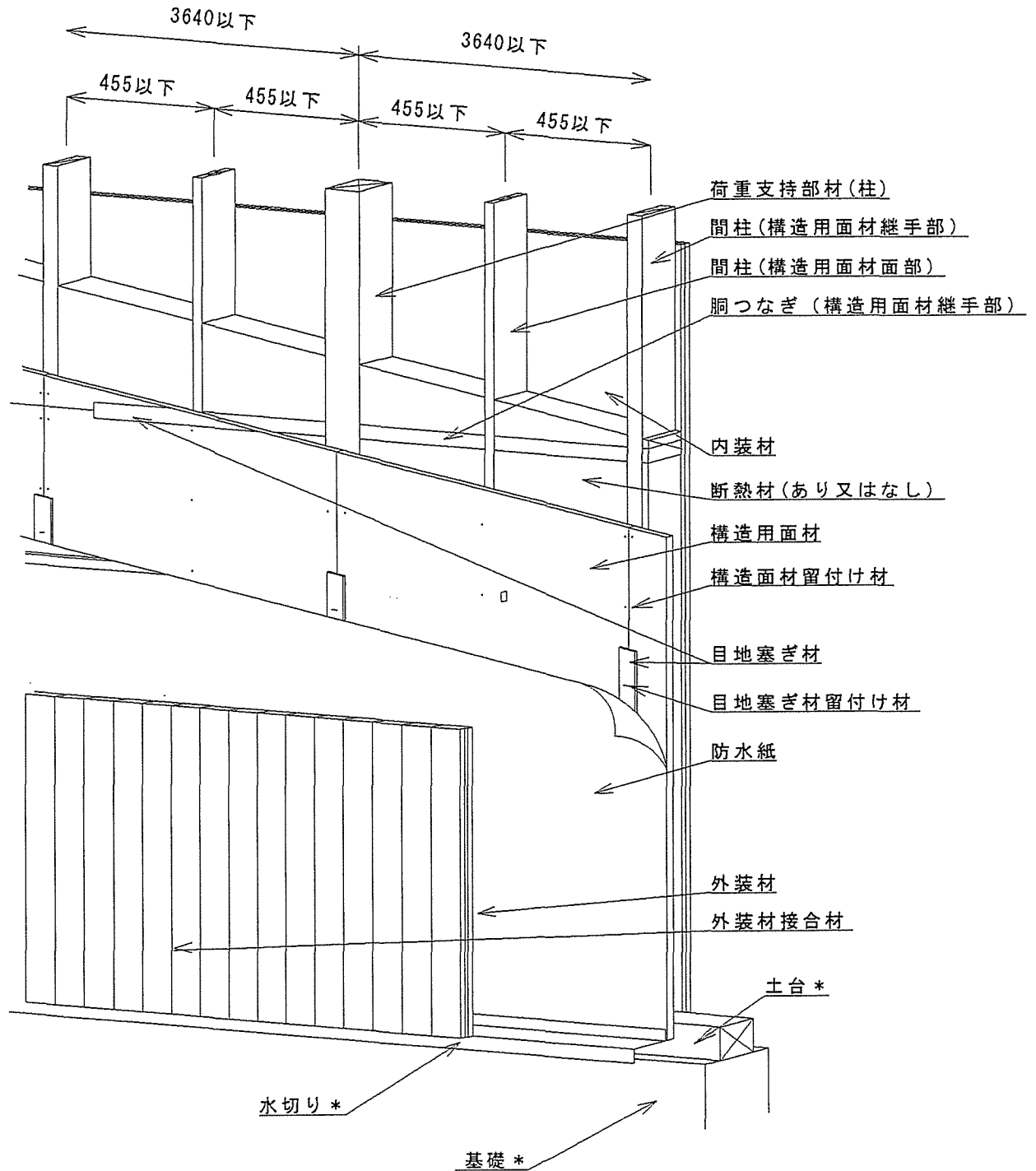


注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

\* : 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

## 外装材 (木 縦張 通気胴縁なし)

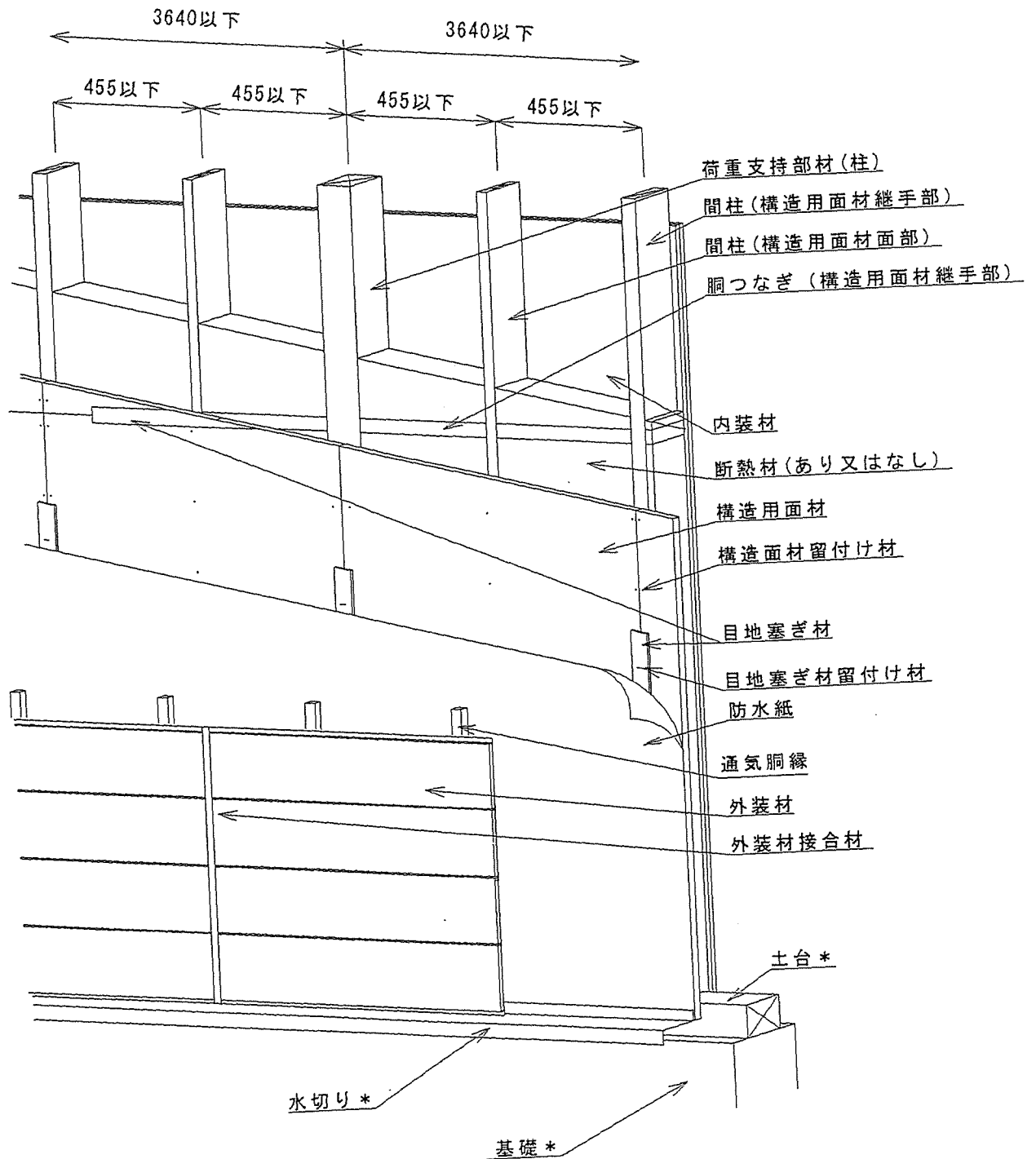


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

\* : 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

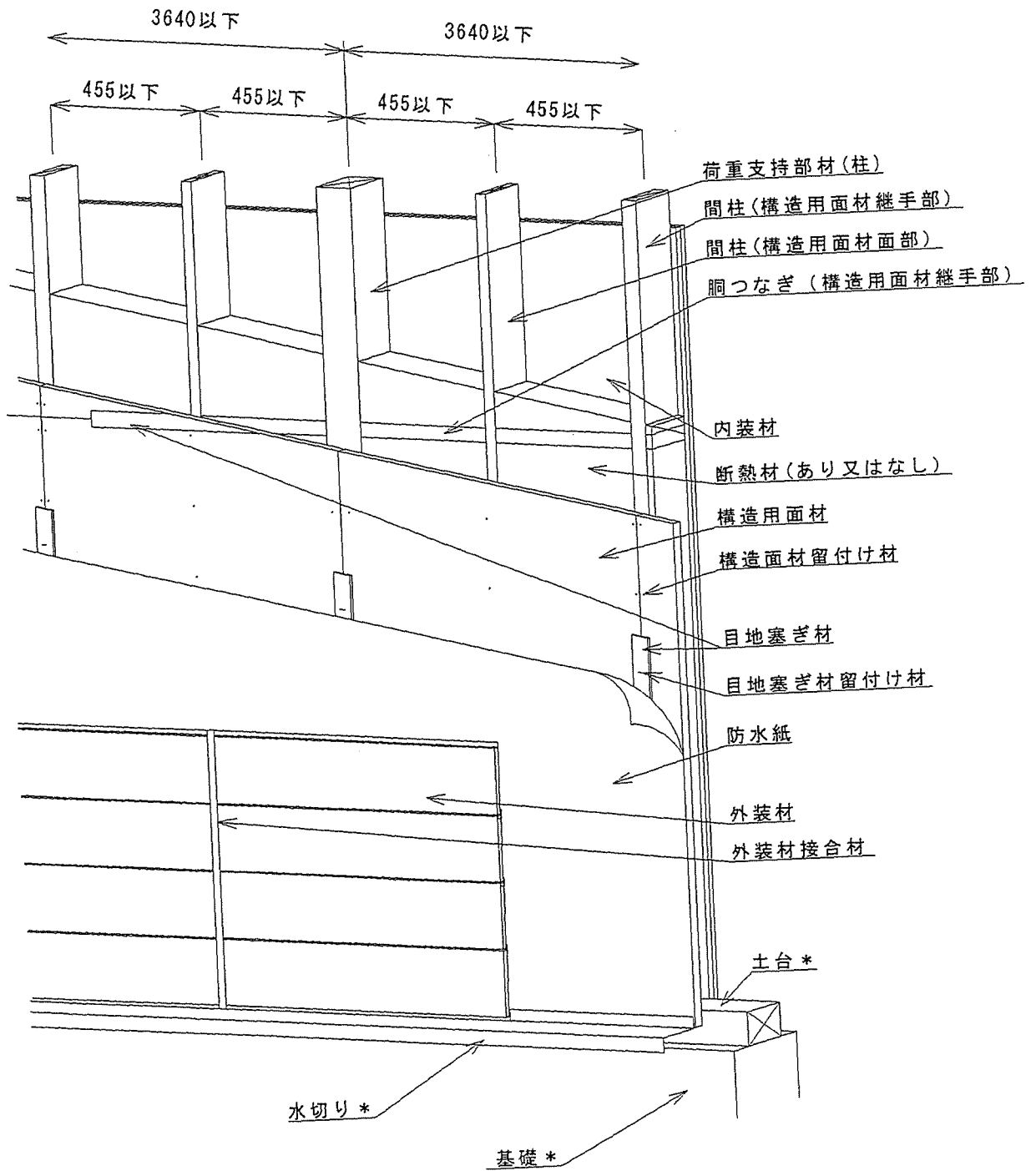
# 外装材 (金属サイディング 横張 通気胴縁あり)



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり  
\*: 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

# 外装材 (金属サイディング 横張 通気胴縁なし)

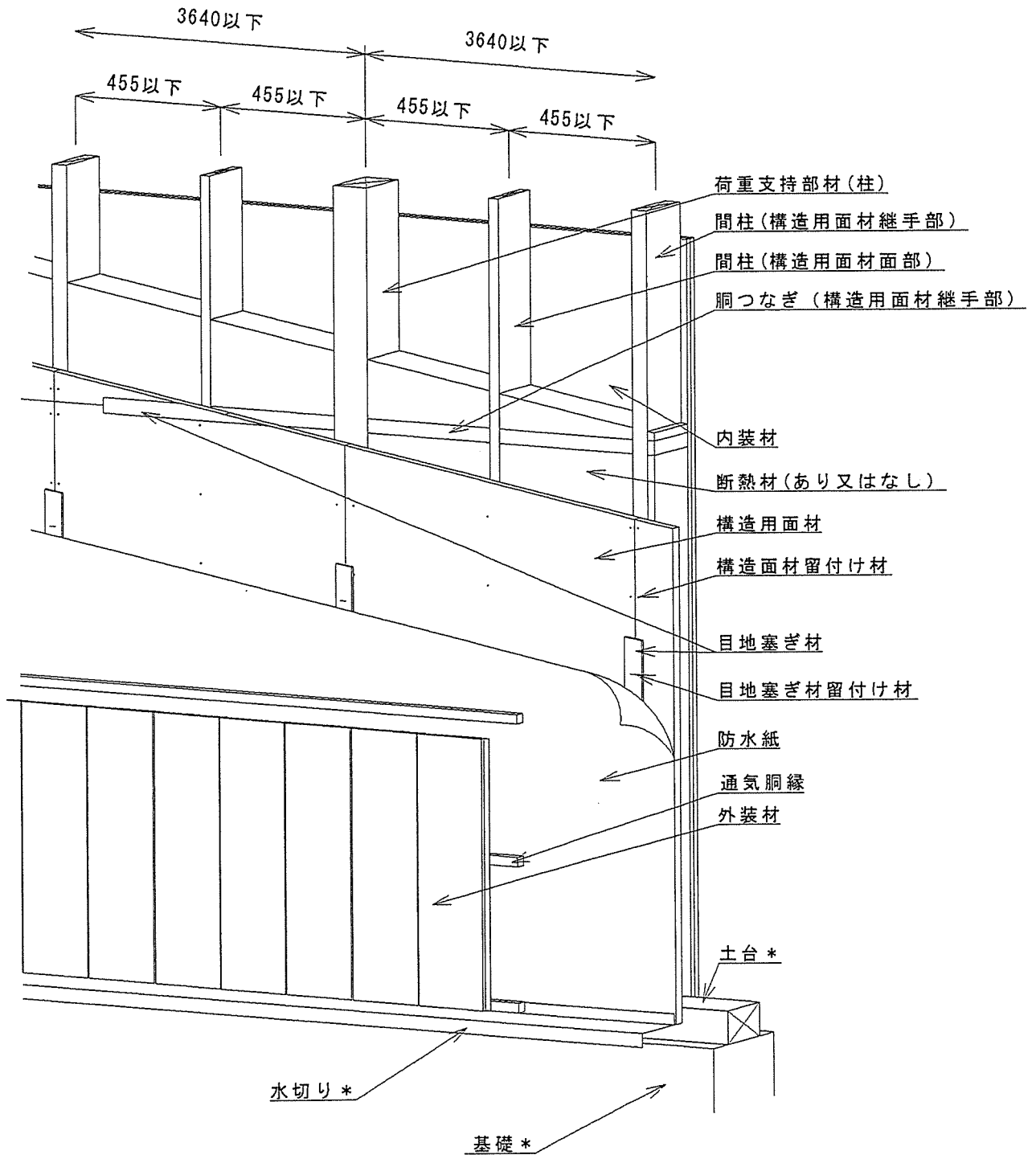


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

\* : 本評価内容に含まない

(寸法単位:mm)

# 外装材（金属サイディング 縦張 通気胴縁あり）



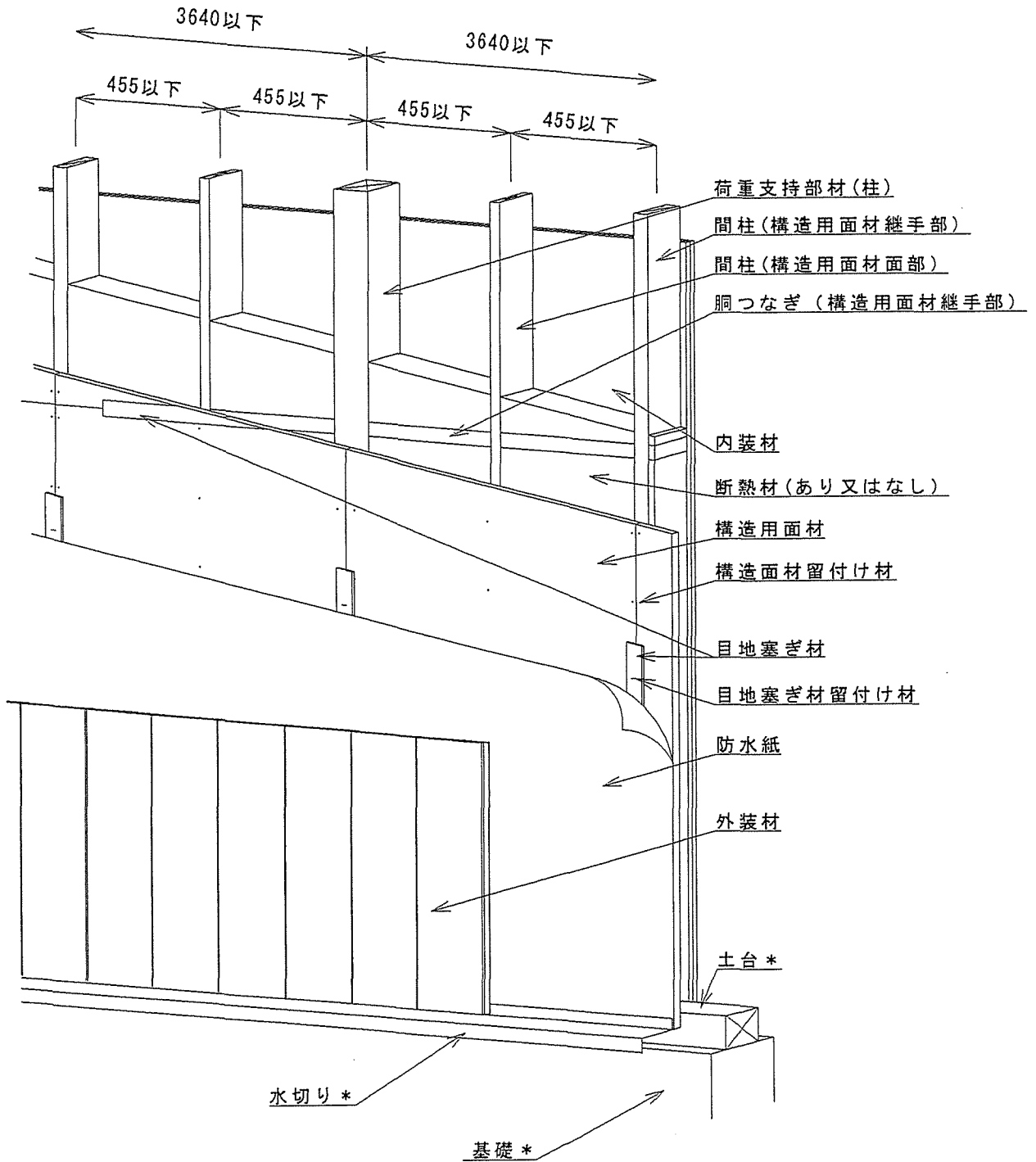
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

\* : 本評価内容に含まない



(寸法単位:mm)

## 外装材（金属サイディング 縦張 通気胴縁なし）



注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

\* : 本評価内容に含まない

## <施工手順>

### 1) 下地組

- ・柱はその間隔が 3640mm 以下となるように取付ける。
- ・間柱はその相互間もしくは柱との間隔が 455mm 以内になるように取付ける。
- ・構造用面材および内装材の水平目地の間隔に合わせて胴つなぎを取付ける。

### 2) 構造用面材の取付け

- ・構造用面材留付け用ねじを用いて、柱、間柱及び胴つなぎに取付ける。  
この時の留付けピッチは 220mm 以内とする。
- ・構造用面材の垂直目地は柱又は間柱(断面寸法：45mm×105mm) 上にくるように取付ける。
- ・構造用面材の水平目地は胴つなぎ上にくるように取付ける。

### 3) 断熱材の取付け

- ・必要に応じて断熱材を柱及び間柱間に隙間がないようにはめ込む。

### 4) 目地塞ぎ材の取付け

- ・構造用面材の垂直目地及び水平目地に目地塞ぎ材留付け用くぎを用いて取付ける。  
この時、ピッチ 280mm 以下で留付けるものとする。

### 5) 防水紙の留付け

- ・横張を原則とし、重ね代は縦 90mm 以上、横 150mm 以上とする。
- ・できるだけたるみやしわがないようにして、防水紙留付け用くぎを用いてピッチ 500mm 以下で留付ける。

### 6) 通気胴縁の取付け

- ・必要に応じて通気胴縁を構造用面材に取付ける。外装材が縦張の場合は水平方向に、横張の場合は垂直方向に 455mm 以内の間隔で取付ける。通気胴縁留付け用ねじでピッチ 300mm 以内で留付ける。

### 7) 外装材の取付け

- ・外装材留付け用ねじで通気胴縁を取付けた場合には通気胴縁に、通気胴縁がない場合は構造用面材にピッチ 455mm 以内で留付ける。
- ・張方は、縦張又は横張とする。
- ・目地の処理は以下の方法で行う。
  - ①突つけ目地（外装材が「木」で、外装材の長さ方向にできる目地の場合）
    - ・外装材に隙間が生じないように突つける。
  - ②重なり目地（外装材が「角波鋼板」で、外装材の幅方向にできる目地の場合）
    - ・重ね代 10mm 以上とし留付ける。
  - ③合いじゃくり・本実目地（外装材が「スパンドレル」、「木」又は「複合金属サイディング」で、外装材の幅方向にできる目地の場合）
    - ・外装材の相互がしっかり密着するようにし留付ける。
  - ④ジョイナー目地（外装材が「スパンドレル」、「角波鋼板」、「複合金属サイディング」の横張りで、外装材の長さ方向にできる目地の場合）
    - ・H型ジョイナーに外装材をはめ込み、留付ける。
  - ⑤水切り目地（外装材が「スパンドレル」、「角波鋼板」又は「複合金属サイディング」の縦張りで、外装材の長さ方向にできる目地の場合）
    - ・水切りを、胴縁又は構造用面材に外装材留付け用ねじ又はくぎで留付ける。
    - ・水切りを介して、外装材をジョイントし留付ける。

⑥ジョイナーとキャップの併用目地（外装材が「複合金属サイディング」の横張りで、外装材の長さ方向にできる目地の場合）

- ・外装材の目地部にT型ジョイナーを取付け、外装材を留付けた後T型ジョイナーにキャップを取付ける

#### 8) 内装材の取付け

- ・1層目（下張）は内装材留付け用くぎを用いて角部のみの4本留めで柱又は間柱（断面寸法：45mm×105mm）及び胴つなぎに取付ける。この時、垂直目地が柱又は間柱（断面寸法：45mm×105mm）上にくるように取付ける。また、水平目地は胴つなぎ上にくるように取付ける。
- ・2層目（上張）は内装材留付け用くぎを用いて、4周及び面中央部において柱又は間柱及び胴つなぎに、ピッチ 300mm 以内で取付ける。取付け位置は、1層目（下張）と同じとし、1層目の目地と2層目の目地は重なるようにする。